

2024年度 中央学院大学
商学部 商学科

学生要覧

Commerce

Business Administration

International Business

Accounting

Economics

Information Science

Sports Career

2024

Faculty of Commerce

建学の精神

公正な社会観と倫理観の涵養

教育理念

商学部は徹底した少数教育を通じて、公正な社会観と倫理観を涵養し、実力と想像力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする。

商学部は、単なる知識の伝達ではなく、人間を基調とした全人格の形成を求め「徹底した少数教育を通じて、公正な社会観と倫理観を涵養し、実力と想像力をそなえた有能な社会人を育成すること」を目的としています。時代が大きく変化している今、社会も、そして大学自体も変わっていかなくてはなりません。こうした高度に多様化していく時代に対応すべく、上記の教育理念に基づいて、より具体的に進化した教育プログラムを構築し、学生の個性や可能性を大きく伸ばす教育をおこなっています。

学校法人 中央学院 沿革

明治 33 年 (1900 年)	「日本橋簡易商業夜学校」設立
明治 35 年 (1902 年)	「中央商業学校」開校
昭和 23 年 (1948 年)	商業学校を廃し新学制による「中央高等学校」を設置、 商業科、普通科を置く
昭和 26 年 (1951 年)	「学校法人中央学院」設置 「中央商科短期大学」設置
昭和 30 年 (1955 年)	「中央商業高等学校」設置
昭和 41 年 (1966 年)	「中央学院大学」商学部商学科設置 (千葉県我孫子市)
昭和 43 年 (1968 年)	「淡江大学 (台湾)」と合作交流協議書調印
昭和 45 年 (1970 年)	「中央学院高等学校」設置 (千葉県我孫子市)
昭和 51 年 (1976 年)	「メンフィス大学 (米国)」と姉妹校協定書調印
昭和 60 年 (1985 年)	「中央学院大学」法学部法学科開設
平成 10 年 (1998 年)	「中央商業高等学校」を「中央学院大学中央高等学校」と改称
平成 11 年 (1999 年)	「大邱大学校 (韓国)」と学術交流に関する協定書調印
平成 13 年 (2001 年)	「中央学院大学中央高等学校」を江東区亀戸に移転 「中央商科短期大学」廃止
平成 14 年 (2002 年)	法人創立 100 周年を迎える
平成 18 年 (2006 年)	「中央学院大学大学院」商学研究科開設
平成 20 年 (2008 年)	「京畿大学校 (韓国)」と学術交流に関する協定書調印 「我孫子市」と包括協定・覚書調印
平成 21 年 (2009 年)	「長春工業大学 (中国)」と学術交流に関する協定書調印
平成 29 年 (2017 年)	「中央学院大学」現代教養学部現代教養学科開設

卒業認定・学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

中央学院大学商学部は、大学建学の精神と大学・学部の教育理念に基づいて、公正な社会観と倫理観をそなえた人材を育成する学部です。流通、サービス、情報通信、製造、金融などのさまざまな業界で活躍するビジネスパーソンや、教育や行政の分野で活躍する教員、公務員などを育成します。

本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年以上在籍し、以下の1～6の能力を身につけるとともに、所定の126単位以上を修得した者に対して、学士（商学）の学位を授与します。

1.幅広い知識と教養

公正な社会観と倫理観の基盤となる、人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養を身につけている。

2.専門的学識

商学および関連領域の専門的知識と当該領域において求められる思考力を身につけている。

3.問題発見力・解決力

商学および関連領域の知見を用いて課題を見定め、必要な情報を収集し、整理・分析して解決してゆく能力を身につけている。

4.多様性の理解とコミュニケーション能力

多様な背景をもつ他者や異文化の理解に努め、コミュニケーションを通して他者との協働を進めていく能力や態度を身につけている。

5.汎用的な能力

情報通信技術をはじめとした多様な手段を用いて情報を収集・分析し、論理的な判断に基づいて効果的に活用することにより、現代社会のさまざまな課題に対応できる能力を身につけている。

6.地域連携・社会貢献

地域社会や参画するネットワークの一員としての責任や役割を認識し、商学および関連領域の知見を用いてそこに貢献する能力や態度を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

中央学院大学商学部は、「卒業認定・学位記授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力などの修得のため、以下のような体系的な教育課程へ編成・実施します。

1.教育課程の編成方針

(1) 幅広い知識と教養

幅広い知識と教養を養うために、人文・自然系科目を設置します。特に学びの基本となる必修科目は第1学年に、選択科目は第1学年から第4学年まで適宜受講できるように配置します。

(2) 専門的学識

商学および関連領域の専門的学識を養うために、商学系科目を設置します。商学の基本に関わる科目は第1学年に配置し、商学の各領域に関わる科目は第2学年以降に、各コースの選択必修科目と自由選択科目として配置します。

(3) 問題発見力・解決力

問題発見力・解決力を養うために、演習形態の科目を設置します。第1学年に通年の必修科目を配置し、第2学年以降に通年の演習科目を配置します。

(4) 多様性の理解とコミュニケーション

多様性の理解とコミュニケーション能力を養うために、外国語科目、日本語科目、体育科目を設置します。外国語科目は第1学年と第2学年の必修科目として、日本語科目と体育科目は第1学年の必修科目として配置します。

(5) 汎用的な能力

情報通信技術を利用し、情報を適切に分析・発信できる能力を養うために、情報リテラシーや情報処理、AIやデータサイエンスに関する科目を設置します。

(6) 地域連携・社会貢献

地域連携・社会貢献の能力や態度を養うために、キャリアデザインやボランティアに関する科目を設置します。また、特に教員養成のために教職科目も設置します。

2.教育課程の実施方針

授業形態は、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせて実施します。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどの活動を科目の特性に応じて盛り込むことによって、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。また、シラバスでは、アクティブ・ラーニングなどの授業形式や各回に求められる予習・復習の内容を示し、教室内外の取り組み方について説明します。学修成果の評価は、シラバスに明文化した方法に基づいて行います。各科目のシラバスでは到達目標や評価方法などをあらかじめ示し、それらの基準に基づいて客観的に評価します。また、成績評価に関する問い合わせの期間を設け、評価の透明性を担保します。

CONTENTS

■商学部

1. 商学部カリキュラム概要と特色	1
2. 授業科目について	4
3. 科目の履修方法	14
4. 試験・成績評価・卒業について	20
5. その他	24
6. 教職課程	28
7. 商学部のカリキュラムマップ	44

[巻末折り込み] 商学部各コース科目表

1.商学部カリキュラム概要と特色

1 学位

商学部で卒業要件を満たすことにより、以下の学位が授与されます。なお、学位の授与は卒業式(学位記授与式)で行われます。

学士(商学)

2 セメスター制

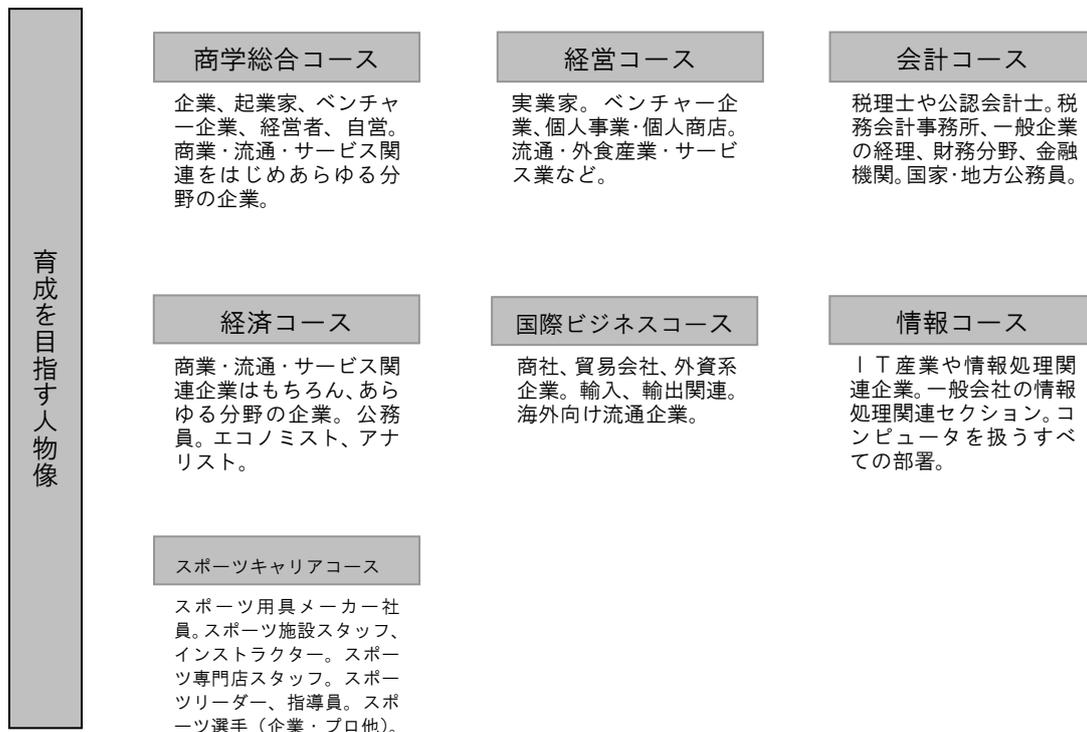
セメスター制とは、「学期制」の意味で、本学では1年間を春と秋の2学期に分け、それぞれの学期で授業が終了し、単位が認定されます。4月から始まる学期を「春セメスター」、10月から始まる学期を「秋セメスター」と呼びます。

3 修業年限

商学部の修業年限は4年間(8セメスター)です。休学期間を除き、8年間をこえて在籍することはできません。

4 コース制

商学部では7コースに分かれてのカリキュラムが用意されています。1年次では共通科目を学び、2年次から目的に合わせて各コースに分かれて学習します。



5 アカデミック・アドバイザー制度

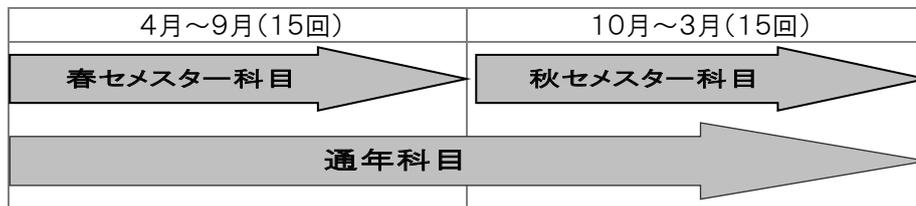
本学の特徴である少人数教育の一環として、アカデミック・アドバイザーである教員が学生の大学生活について指導・助言を行う制度です。これは学生が入学から卒業まで安心して大学生活を送ることを目的としています。

1年次に必修科目として履修する「プロゼミナール」を担当した教員が、そのまま卒業するまで、アカデミック・アドバイザーとなります。

困ったこと、悩み事などがあつたときは、まずアカデミック・アドバイザーに相談してください。

6 授業の形態と取得できる単位数

- ① 1科目の授業は毎週1回(90分)を標準とします。
- ② 科目の形態は大きく分けると「 Semester科目」「通年科目」に分かれます。
 - ・ 「 Semester科目」とは、半期(Semester)[週1回×15週]の科目をいいます。
 - ・ 「通年科目」とは、1年間(春・秋Semester)[週1回×30週]の科目をいいます。



- ・ 授業は通常週1回、講義、演習、または実技等の授業を実施します。
 - ・ 科目によっては、「集中授業」という形で実施するものがあります。「集中授業」の場合、「 Semester科目」は15回分の授業を、「通年科目」は30回分の授業を、集中的に決まった期間に実施します。期間や申込方法などは、年度のはじめに実施されるガイダンスや掲示などでお知らせします。
- ③ 授業の形態は大きく分けると「講義」「実習」「ゼミナール(演習)」に分かれます。
 - ・ 「講義科目」とは、担当教員が講義により実施する科目です。
 - ・ 「演習科目」とは、担当教員の指導のもと、学生が自主的に学習する科目です。
 - ④ 「単位」は、あらかじめ履修登録した科目について授業内容を理解し、試験や実技等の成績評価を受けて合格した場合に、所定の単位数が認定されます。
 - ⑤ 「**単位数**」は以下のとおり設定しています。

形 態	Semester科目	通年科目
講 義	2単位	4単位
演 習	/	4単位
プロゼミナール	/	2単位
外 国 語	1単位	/
体 育	1単位	/
商学部入門講座 商学部卒業講座Ⅰ 商学部卒業講座Ⅱ	/	1 単位

7 授業時間

授業時間は、以下のとおりです。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00 ～10:30	10:40 ～12:10	12:50 ～14:20	14:30 ～16:00	16:10 ～17:40

※6時限 17:50－19:20(補講等で活用する特別授業時間)

8 教職課程

「教職課程」は中学校・高等学校の教員を目指す学生のための課程です。

所定の単位を修得することにより、中学校[社会]・高等学校[商業][情報][公民][地理歴史]の「教育職員免許状」を取得することができます。

「教育職員免許状」の取得を希望する学生は1年次から所定の科目を履修する必要があります。

P28「6.教職課程」で履修の方法を確認して、学習をすすめてください。

2.授業科目について

1 科目系列と卒業所要単位

学士(商学)の学位を取得するには、以下の科目系列ごとに卒業所要単位数(卒業に必要な単位数)を修得することが必要です。

なお、卒業所要単位数は126単位ですが、次の科目系列ごとに必要な単位数が不足している場合は卒業できません。不明な点は必ず教務課で確認してください。

科目系列	卒業所要単位数	
	分類	合計
[1] 商学系列科目	必修科目 4単位 コース選択必修科目 16単位 選択科目 72単位	92単位
[2] 人文・自然系列科目	必修科目 6単位 選択科目 20単位	26単位
[3] 外国語系列科目	必修科目 6単位	6単位
[4] 体育科目	必修科目 2単位	2単位
[5] 留学生科目	(留学生必修科目 8単位) (留学生選択科目 4単位)	—
[6] 教職科目	P28「6.教職課程」を参照	—
卒業所要単位数 合計	[1]～[4]まで(留学生は[5]まで) の要件をそれぞれ満たし126単位以上	

「必修科目」とは、必ず単位を修得しなければ卒業できない科目です。

「コース選択必修科目」とは、コースごとに定められた科目です。コースの履修方法に従ってください。

「選択科目」とは、科目系列ごとに設置された「選択科目」から自由に科目を履修し、卒業所要単位数を満たす科目です。

「留学生科目」とは、留学生対象の科目です。留学生は「留学生必修科目」を修得しなければなりません。「日本語表現Ⅰ」「日本語表現Ⅱ」は履修しません。P9「[5]留学生科目」を見てください。

「教職科目」とは、教育職員免許状を取得するための課程に設置された教職課程専用の科目です。原則として卒業単位にはなりません。詳細はP28「6.教職課程」を参照してください。

※次ページより、各系列別に必修科目・選択科目の詳細を記載します。

※科目の内容、評価方法については、『講義要項(シラバス)』を参照してください。

2 科目系列ごとの履修科目

[1] 商学系列科目

① 必修科目 (卒業所要単位: 4 単位)

科目名		単位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
情報リテラシー	情報処理論	各2単位	1年

② コース選択必修科目 (卒業所要単位: 各セメスターで定められた単位数を満たし、合計16単位)

- ◆ 16単位以上修得した場合は、その余剰単位分は商学系列選択科目の単位になります。
- ◆ 下記表中のコース選択必修科目の単位数は全て1科目2単位です。
- ◆ 各コースの必要単位数は、巻末の科目及び卒業所要単位数一覧を参照してください。

配当年次 コース	2年次		3年次		4年次	
	春(第3)セメスター	秋(第4)セメスター	春(第5)セメスター	秋(第6)セメスター	春(第7)セメスター	秋(第8)セメスター
商学総合	商学総論 初級簿記Ⅰ マーケティング論	流通システム論 初級簿記Ⅱ マーケティング戦略論	経営学総論Ⅰ	経営学総論Ⅱ	流通戦略論Ⅰ	流通戦略論Ⅱ
経営	経営学総論Ⅰ 商学総論 近代商業史 初級簿記Ⅰ	経営学総論Ⅱ 流通システム論 現代商業史 初級簿記Ⅱ	経営管理基礎理論 経営組織論Ⅰ	経営管理応用理論 経営組織論Ⅱ	企業の財務活動	財務的意思決定
国際 ビジネス	国際貿易理論 国際ビジネス論	国際貿易政策 多国籍企業論	国際ビジネス戦略論 (理論編) 国際マーケティングの 基礎理論	国際ビジネス戦略論 (実践編) 国際マーケティング業務	ビジネスコミュニケーション論 国際ビジネス実務	異文化間コミュニケーション論 国際ビジネス実践
会計	中級簿記Ⅰ 上級簿記Ⅰ 会計学入門	中級簿記Ⅱ 上級簿記Ⅱ 会計制度論	財務諸表論	会計原則論	管理会計総論 法人税務会計	管理会計論 所得税務会計
経済	ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 経済史Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済史Ⅱ	公共経済学Ⅰ 国際経済学Ⅰ	公共経済学Ⅱ 国際経済学Ⅱ	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅱ
情報	コンピュータコミュニケーション プログラミングⅠ(ビジネス処理 系言語) プログラミングⅠ(システム 開発系言語) プログラミングⅠ(ソフトウェ ア開発系言語)	アプリケーション論 プログラミングⅡ(データ処 理系言語) プログラミングⅡ(応用シス テム開発系言語) プログラミングⅡ(応用ソフト ウェア開発系言語)	コンピュータの構成 情報環境論 データベース	システム設計論 ネットワーク論 Webデータベース	シミュレーション e-コマース	経営科学 コンテンツ開発
スポーツ キャリア	スポーツキャリア実践講 座Ⅰ フィットネス概論Ⅰ スポーツ指導論Ⅰ スポーツ組織論Ⅰ	スポーツキャリア実践講 座Ⅱ フィットネス概論Ⅱ スポーツ指導論Ⅱ スポーツ組織論Ⅱ	スポーツキャリア実践 講座Ⅲ スポーツ心理学Ⅰ スポーツ経営論Ⅰ	スポーツキャリア実践講 座Ⅳ スポーツ心理学Ⅱ スポーツ経営論Ⅱ	スポーツ広報論Ⅰ スポーツビジネス 論Ⅰ	スポーツ広報論Ⅱ スポーツビジネス 論Ⅱ
共通	商学部入門講座(1 単位) (配当年次は 1 年次) 商学部卒業講座Ⅰ・商学部卒業講座Ⅱ(各 1 単位) (配当年次は4年次) ◆コース選択必修科目が不合格になった場合、この講座を修得していれば不足している 1 単位分に振り替えられる。 また、コース選択必修科目を各セメスターの条件を満たし16単位分を合格した場合は、この講座を修得している場合の各 1 単位は選択科目の単位となる。					

③商学系列選択科目(卒業所要単位:72単位)

◆選択科目は自由に履修することができますが、P16～19「コース別履修モデル表」を参考に履修することを推奨します。

科 目 名		単 位	配当年次
春semester	秋semester		
商学総論	流通システム論	各2単位	1～4年
情報社会と倫理			
情報数学	経営数学		
情報科学概論	マルチメディア論		
初級簿記Ⅰ	初級簿記Ⅱ		
日本古代・中世経済史	日本近世・近・現代経済史		
民法総則	物権法		
会計情報論	会計情報システム論	各2単位	2～4年
開発経済学	開発政策論		
株式会社と証券市場	経済と株価		
近代金融論	現代金融論		
近代日本経済論	現代日本経済論		
地域経済学Ⅰ	地域経済学Ⅱ		
経済法Ⅰ	経済法Ⅱ		
原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ		
広告論	広告政策論		
国際ビジネス環境論			
国際流通論	国際流通システム論		
債権法総論	債権法各論		
産業心理学	人事教育心理学		
市場論	市場戦略論		
社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ		
商業政策総論	流通政策論		
消費経済学(家計と企業)	消費経済学(家計と政府)		
商法総則・会社法総論	会社法各論		
環境経済学Ⅰ	環境経済学Ⅱ		
税法Ⅰ	税法Ⅱ		
ソフトウェア論			
手形・小切手法	金融商品取引法		
統計学	数理統計学		
マルクス経済学Ⅰ	マルクス経済学Ⅱ		
入門計量経済学	応用計量経済学		
ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」	ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」		
マーケティングシステム論	マーケティング情報論		
労働法の基礎	労働法の応用		
国際通貨	外国為替	各2単位	3～4年
監査制度論	監査報告論		
近代中小企業論	現代中小企業論		
財務諸表分析	企業評価論		
労働経済学Ⅰ	労働経済学Ⅱ		
労務管理	人事管理		
メディアデザイン			
外国書講読1	外国書講読2	各2単位	3年
外国書講読3	外国書講読4		4年
演習Ⅰ(通年)	各4単位		2年
演習Ⅱ(通年)		各4単位	3年
演習Ⅲ(卒業論文指導)			4年

[2]人文・自然系列科目

①必修科目(卒業所要単位:6単位)

科目名		単位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
日本語表現Ⅰ	日本語表現Ⅱ	各2単位	1年
プロゼミナール(通年)		2単位	1年

◆留学生は日本語表現ⅠⅡの代わりに、日本語読解12と日本語作文12を履修します。

②選択科目(卒業所要単位:20単位)

◆20単位以上修得した場合、その余剰単位分は商学系列選択科目の単位になります。ただし、上限がありますので、P11「**9**単位の振り替えについて」を参照してください。

科目名		単位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
外国文化研究Ⅰ	外国文化研究Ⅱ	各2単位	1~4年
基礎法学	応用法学		
経済学Ⅰ	経済学Ⅱ		
言語学Ⅰ	言語学Ⅱ		
現代社会論Ⅰ	現代社会論Ⅱ		
憲法	法学		
自然科学概論Ⅰ	自然科学概論Ⅱ		
自然地理学Ⅰ	自然地理学Ⅱ		
社会学Ⅰ	社会学Ⅱ		
人文地理学Ⅰ	人文地理学Ⅱ		
心理学Ⅰ	心理学Ⅱ		
数学Ⅰ	数学Ⅱ		
スポーツ健康科学概論Ⅰ	スポーツ健康科学概論Ⅱ		
政治学Ⅰ	政治学Ⅱ		
生物学Ⅰ	生物学Ⅱ		
地学Ⅰ	地学Ⅱ		
地球環境論	自然環境論		
哲学Ⅰ	哲学Ⅱ		
日本語操作Ⅰ	日本語操作Ⅱ		
物理学Ⅰ	物理学Ⅱ		
文学演習Ⅰ	文学演習Ⅱ		
文化人類学Ⅰ	文化人類学Ⅱ		
倫理学Ⅰ	倫理学Ⅱ		
歴史学(世界史)Ⅰ	歴史学(世界史)Ⅱ		
歴史学(日本史)Ⅰ	歴史学(日本史)Ⅱ		
論理学Ⅰ	論理学Ⅱ		
平和学Ⅰ	平和学Ⅱ		
データサイエンス			
キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ		
キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅣ		
ボランティア学	地域ボランティア実践		

※「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。「ボランティア学」の単位を修得できなかった場合は、「地域ボランティア実践」を履修することはできません。2科目とも単位を修得した場合は(計4単位)、人文・自然系列科目選択科目の単位として卒業所要単位に入ります。(どちらか一方の単位が修得できない場合は卒業所要単位として認められません。)
「地域ボランティア実践」のみ単位の修得ができなかった場合は、教務課に翌年度以降の再度の履修について早めに相談してください。

※BJPとBLPについては、P10「**7**BJP(ベスト・ジョブ・プログラム)」「**8**BLP(ビジネス・ライセンス・プログラム)」を参照してください。

[3]外国語系列科目

①必修科目(卒業所要単位:6単位)

分類	科目名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
第一外国語	英会話	英語リスニング・スピーキング(LL)	各1単位	1年
	英語リーディング・ライティング1	英語リーディング・ライティング2		
	総合英語1	総合英語2		2年

②選択科目(卒業所要単位:0単位)

- ◆外国語系列の選択科目は、同一言語の4単位を揃えて修得していることを条件に、商学系列選択科目の単位とする(単位の振り替えをする)ことができます。
ただし、第二外国語はいずれか1言語のみが卒業単位の対象となります。また、全体の振り替え単位数に上限がありますので、P11「9単位の振り替えについて」を参照してください。
なお、卒業単位にはならなくても、複数言語を履修することはできます。
- ◆外国語系列の選択科目は、1～4まで順番に同じ言語を履修してください。
- ◆留学生は、外国語系列科目の選択科目として「日本語理解1」「日本語理解2」「日本語特講1」「日本語特講2」を履修することができます。上記の4単位を揃えて修得する条件はありません。1単位から商学部系列選択科目に振り替えられます。
- ◆留学生は以下の第二外国語科目において母国語を選択することはできません。

分類	科目名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
第一外国語	英語特別講座1	英語特別講座2	各1単位	2～4年
	英語特別講座3	英語特別講座4		3・4年
	英語上級講座1	英語上級講座2		2～4年
	英語上級講座3	英語上級講座4		3・4年
第二外国語 <small>※卒業単位として振り替えられる対象は1言語のみ。</small>	ドイツ語1	ドイツ語2	各1単位	1～3年
	ドイツ語3	ドイツ語4		2～4年
	フランス語1	フランス語2		1～3年
	フランス語3	フランス語4		2～4年
	中国語1	中国語2		1～3年
	中国語3	中国語4		2～4年
	コリア語1	コリア語2		1～3年
	コリア語3	コリア語4		2～4年

[4]体育科目

①必修科目(卒業所要単位:2単位)

科目名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
健康スポーツ実技Ⅰ	健康スポーツ実技Ⅱ	各1単位	1年

②選択科目(卒業所要単位:0単位)

- ◆体育科目は全て実技です。保健体育科目としては、人文・自然系列科目「スポーツ健康科学概論Ⅰ・Ⅱ」があります。
- ◆体育科目の選択科目の合計4単位を全て修得した場合に限り、商学系列選択科目の単位とすることができます。
- ◆体育科目の選択科目は全て1単位です。

科目名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
スポーツ文化実技Ⅰ	スポーツ文化実技Ⅱ	各1単位	2～4年
生涯スポーツ実技Ⅰ	生涯スポーツ実技Ⅱ		

[5]留学生科目

- ◆留学生以外の学生は履修できません。
- ◆留学生は以下の必修科目を修得しなければなりません。

①必修科目(卒業所要単位:8単位)

科 目 名		単 位	配当年次
春semester	秋semester		
日本語読解 1	日本語読解 2	各 1 単位	1 年
日本語作文 1	日本語作文 2		
日本事情 I	日本事情 II	各 2 単位	2 年

②選択科目

科 目 名		単 位	配当年次
春semester	秋semester		
日本語理解1	日本語理解2	各 1 単位	1~4 年
日本語特講1	日本語特講2		

③商学部入門講座

商学の幅広い領域を見渡し、商学が日常生活とどう関わっているのかを学ぶ授業として1年次に「商学部入門講座」を設置しています。商学の楽しさを知り、2年次から各コースで学べる内容を知ることで、自分の学びたいことを発見し、自分に最適なコースを選択できるようになります。7コースの担当教員がオムニバス形式で授業をおこないます。

なお「商学部入門講座」の単位を修得していれば、コース選択必修科目を履修し不合格だった場合に、この講座の単位(1単位)を振り替えることができます。コース選択必修科目の各semesterの要件を満たしている場合には、この講座の単位は商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

④プロゼミナール

1年次の必修科目として設置されている「プロゼミナール」は、大学生活に適応し、専門的知識の学習に備えるための科目です。少人数のクラスを編成し、アカデミック・アドバイザーが指導と助言を行います。教養を深め、専門知識を学ぶために必要な学習方法を学ぶとともに、アカデミック・アドバイザーやクラスの仲間とのコミュニケーションによって、社会的スキルと常識を身につけます。

⑤演習 I・II・III(ゼミナール)

「演習(ゼミナール)」とは、同じ研究テーマに関心を持つ学生が、数名から20名程度集まり、教員の指導やアドバイスを受けながら自主的に研究を進めていく授業のことです。

この科目は2年次からの選択科目です。希望の研究分野について、卒業までの3年間をかけて学習を進めていきます。履修の流れは以下のとおりです。

- ① 1年次の秋semesterに開かれる演習説明会に出席。
- ② 各演習の研究内容(担当教員によって研究内容が異なります)配布。
- ③ 希望の研究内容の「演習(ゼミナール)」に応募。
- ④ 「演習(ゼミナール)」の選考を受験。
- ⑤ 選考結果発表。合格者は確定。
- ⑥ 選考にもれた場合は、二次・三次募集に応募・選考受験。
- ⑦ 許可にならなかった場合にも二次・三次の選考が受けられます。
- ⑧ 2年次から「演習 I (4単位)」を履修。

なお、3年次からは「演習 II (4単位)」、そして4年次には「演習 III (4単位)」と、原則として同一の研究内容(担当教員)で継続して履修することになります。

また、この科目は通年科目です。「演習 I」「演習 II」「演習 III」について、それぞれ履修年度ごとに4単位を取得できます。

6 商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)・商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)

「商学部入門講座」と対をなす科目として、4年次の履修科目「商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)」「商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)」を設置しています。4年間学んだことがどのように機能しているかを、OB/OGを大学に招き講座内で講演していただくことによって学ぶものです。実践教育を重視する本学教育理念の集大成をはかる授業です。

なお、「商学部卒業講座(学友会講座)」はコース選択必修科目を履修し不合格だった場合にこの講座を修得していれば、各1単位分を振り替えることができます。また、コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たした場合にはこの講座の単位は、商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

7 BJP(ベスト・ジョブ・プログラム)

本講座は、就職活動に向けたプログラムを2年から3年にかけて行っていくものです。社会や仕事に関する知識を増やしていき、就職活動に向けた準備を着実に進めていきます。

キャリアデザインⅠ(2年春セメスター)※定員50名

社会や仕事に関する知識、資格取得に関する知識を増やし、将来の仕事について考えていきます

キャリアデザインⅡ(2年秋セメスター)※定員50名

大学の学びと社会のつながり、自分について考え、就職活動に向けた行動計画を立てていきます

キャリアデザインⅢ(3年春セメスター)※定員50名

最近増える傾向にある、大学在学中の企業での就業体験(インターンシップ)。このインターンシップに参加するための準備を進めていきます

キャリアデザインⅣ(3年秋セメスター)※定員50名

本格的な就職活動に向けた準備を進めていき、学外に出て自分で活動できる自信をつけていきます

8 BLP(ビジネス・ライセンス・プログラム)

アクティブセンターで開講されている講座を受講することで資格取得を目指し、さらに商学系列の共通選択科目の単位を取得することが可能です。以下のような科目の単位が認定されます。単位認定基準は講座ごとに異なります。履修方法などの詳細はCGUポータルのお知らせをご確認ください。資格取得講座を受講するためにはアクティブセンターでの手続きが必要です。また単位を取得するにはCGUポータル上で該当する資格取得講座の履修登録をしなければなりません。なお、春セメスターの履修登録時に、CGUポータル上で履修登録が完了していないと単位取得の対象にはならないのでご注意ください。

【資格取得講座:国家資格】

- 行政書士(4単位)
- 宅建士(宅地建物取引士)(4単位)
- FP(ファイナンシャルプランナー)3級(4単位)

【資格取得講座:民間資格】

- 日商簿記2級(4単位)
- 日商簿記3級(4単位)
- カラーコーディネーター(スタンダード)(2単位)
- 秘書技能検定2級(2単位)
- マネジメント検定(Ⅲ級)(2単位)
- Microsoft Word(2単位)
- Microsoft Excel(2単位)

※各種資格取得講座の受講料が**一般社会人の1/2の金額**で受講できます。(講座により割引率が異なります。)
国家試験合格者には受講料全額補助、他の資格試験合格者には納入した受講料の1/2補助の制度があります。詳細はアクティブセンターまでお問合せください。

【問い合わせ先】アクティブセンター(中央学院100周年大学記念館5階) TEL:04-7183-6529

9 単位の振り替えについて

[1] 商学系列選択科目への単位の振り替え

以下の単位を最大24単位まで商学系列選択科目の単位として振り替えることができます。

商学系列選択科目へ振り替えできる単位

No.	項 目	振り替えの上限単位数	
①	法学部設置科目(8科目まで)	16単位まで	合 計 24単位 まで
②	人文・自然系列科目の余剰単位		
③	千葉県単位互換協定に基づく 他大学(放送大学を含む)での修得単位		
④	英語特別講座1~4 (4単位全て修得していること)	4単位	
⑤	英語上級講座1~4 (4単位全て修得していること)	4単位	
⑥	外国語科目の選択科目のうち、第二外国語 (同一言語で4単位修得していること) 留学生選択科目 (4単位全て履修している必要はありません)	4単位	
⑦	体育科目の選択科目(4単位全て修得していること)	4単位	
⑧	教職科目のうち指定科目	12単位まで	

① 法学部設置科目

法学部設置の下記の科目のうち、16単位(8科目)を上限に履修することができます。

開講される科目及び担当教員は毎年4月に配付される『講義時間割』及び『講義要項(シラバス)』に掲載されますので、確認して履修登録してください。

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
企業取引法1	2	3・4年	企業取引法2	2	3・4年
企業法概論1	2	3・4年	企業法概論2	2	3・4年
刑法総論1	2	3・4年	刑法総論2	2	3・4年
債権法各論1	2	3・4年	債権法各論2	2	3・4年
地方自治論1	2	3・4年	地方自治論2	2	3・4年
外国法(アジア法)1	2	3・4年	外国法(アジア法)2	2	3・4年
行政学1	2	3・4年	行政学2	2	3・4年
刑事政策1	2	3・4年	刑事政策2	2	3・4年
日本法制史1	2	3・4年	日本法制史2	2	3・4年
法哲学1	2	3・4年	法哲学2	2	3・4年
有価証券法1	2	3・4年	有価証券法2	2	3・4年
刑事訴訟法1※	2	3・4年	刑事訴訟法2※	2	3・4年

※刑事訴訟法1及び刑事訴訟法2を履修するためには、憲法(人文・自然系列選択科目)及び刑法総論1及び刑法総論2の計6単位を修得していること。

② 人文・自然系列科目の余剰単位

卒業所要単位を超過して修得した単位数をさします。

③ 千葉県単位互換協定に基づく他大学(放送大学を含む)での修得単位

千葉県内の単位互換協定締結校で単位を修得することができます。主に3月下旬に、各大学より送付される募集要項は、教務課で閲覧することができます。最大履修単位数の範囲であれば、卒業までに30単位を上限に履修登録できます。詳細については、教務課に問い合わせてください。

④ 科目についてはP8「[3]外国語系列科目」を参照してください。

⑤ 科目についてはP8「[3]外国語系列科目」を参照してください。

⑥ 科目についてはP8「[3]外国語系列科目」を参照してください。

⑦科目についてはP8「[4]体育科目」を参照してください。

⑧教職科目のうち指定科目

- ◆「教職科目」のうち、下記の科目12単位を限度として商学系列選択科目へ振り替えの対象とします。
- ◆下記の科目は全て2単位です。

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
日本史概説Ⅰ	2	1年	日本史概説Ⅱ	2	1年
外国史概説Ⅰ	2	1年	外国史概説Ⅱ	2	1年
日本史特論Ⅰ	2	1年	日本史特論Ⅱ	2	1年
人文地理学概論	2	1年	地誌学概説	2	1年
自然地理学概論Ⅰ	2	1年	自然地理学概論Ⅱ	2	1年

[2]コース選択必修科目の余剰単位

コース選択必修科目を、各セメスターの修得単位数要件を満たし16単位以上修得した場合、その余剰単位は商学系列選択科目に振り替えます。

[3]商学部入門講座・商学部卒業講座Ⅰ・商学部卒業講座Ⅱ

コース選択必修科目を履修し不合格だった場合にこれらの講座を修得していれば、各1単位分を振り替えることができます。また、コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たした場合にはこの講座の単位は、商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

科目についてはP9「**3**商学部入門講座」・P10「**6**商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)・商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)」を参照してください。

3.科目の履修方法

1 科目の履修方法

多くの科目は自由に選択することができます。そのため、自分で履修する科目を決め時間割を作成しなければなりません。そして、履修科目を決めた後、科目の担当教員に履修の意思を伝える必要があります。この手続きを「履修登録」といいます。**履修登録をしなければ、単位を修得することができません。**

期間内に履修登録が行われない場合、修学意思がないものとして、学則第60条2.「修学意欲なく学力が低下し大学で定められた教育課程の修得の見込みがないと認められた者」に基づき懲戒処分とすることがあります。

1. 履修登録の時期

履修登録は、各セメスターの初めに行います。指定された期間に登録をしなければ、授業を受けることができません。履修登録の期間・方法については、ガイダンス又はCGUポータルでお知らせします。

2. 履修登録の条件

履修登録にはいくつかの条件があります。次のような条件を満たさないと登録はできません。

◆配当年次

配当年次に達していない場合は履修登録することができません。配当年次に従って履修します。

◆クラス指定・時間割指定

各年度の初めに配布される『講義時間割』を見て科目を履修しますが、クラスごとに履修科目の曜日や時限が決められていることがあります。

◆授業科目ごとの条件

授業科目によって他科目の履修などを条件としている科目があります。『講義要項(シラバス)』にそれぞれ記載されますので、履修登録しようとする科目については必ず参照してください。

◆再履修科目

「再」と記載がある科目は、その科目の再履修者専用です。

◆最大履修単位数

年間の学修が無理なくできるように、履修可能な単位数には、セメスターごとに上限があります。履修登録の際には(1)の最大履修単位数を守ってください。

(1) 1年間に履修できる**最大履修単位数**は次の通りです。

学 年 \ セメスター	春セメスター	秋セメスター
1年次	24単位	25単位
2年次	24単位	24単位
3年次	24単位	24単位
4年次	24単位	24単位

※通年科目の単位数は、最大履修単位数の計算上、各セメスターで半分ずつカウントします。

※セメスター科目の集中授業は、実施時期のセメスター単位にカウントします。

※商学部入門講座の単位数は、秋セメスター単位にカウントします。

(2) 次のような履修登録はできません。

- ① すでに単位を修得している科目を再び履修すること。
- ② 上級年次に配当されている科目および下級年次に新設された科目を履修すること。
- ③ 学年・クラスが指定されているにもかかわらず、自己の都合で指定以外の学年・クラスで同一の科目を履修すること。
- ④ 同一時限に2科目以上を履修すること。

(3) 履修登録上の注意

- ① 履修登録期間・方法についてはガイダンス又は CGU ポータルでお知らせします。指定の期間以外は受け付けません。
- ② 登録期間を過ぎてからの履修登録はできません。病気、その他やむを得ない理由で、所定の期日まで登録手続きができない場合は、事前に教務課で相談してください。
- ③ 履修登録期間後に登録済の科目および担当教員を自己の都合で変更することはできません。なお時間割、担当教員が変更された場合は教務課掲示板又は CGU ポータルにてお知らせします。その場合は教務課の指示内容の範囲で変更が認められます。
- ④ **履修取消**は、決められた期間内に、教務課で手続きをしなければなりません。ただし、必修科目は取り消しができません。詳細は、教務課掲示板又は CGU ポータルで確認してください。なお、取り消した科目の代わりに他の科目を追加することはできません。
- ⑤ **履修方法に関する疑問**は教務課で確認してください。疑問点をそのままにしておき、自己判断で誤った履修をすると卒業できなくなる場合がありますので、必ず**教務課で相談してください**。
- ⑥ 履修登録は必ず本人が行ってください。
- ⑦ 千葉県単位互換協定に基づく他大学(放送大学を含む)での修得単位
千葉県内の単位互換協定締結校で単位を修得することができます。3月下旬に各大学より送付される募集要項は、教務課で閲覧することができます。最大履修単位数の範囲内であれば、卒業までに30単位を上限に履修できます。詳細については、教務課に問い合わせてください。

4 コース別履修モデル表

コース別の履修推奨科目です。必修科目/選択必修科目以外の科目を履修を選択する際の参考にしてください。

商学総合コース履修モデル表

商学系列科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学総論(2)	流通システム論(2)		民法総則(2)		物権法(2)			
	演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)			
	広告論(2)	広告政策論(2)	株式会社と証券市場(2)	経済と株価(2)	市場論(2)	市場戦略論(2)		
	近代金融論(2)	現代金融論(2)	マイクロ経済学 I (2)	マイクロ経済学 II (2)	債権法総論(2)	債権法各論(2)		
	商法総則・会社法総論(2)		会社法各論(2)		会計学入門(2)		国際ビジネス論(2)	
			会計制度論(2)		多国籍企業論(2)			

(注1)「演習」は通年科目

経営コース履修モデル表

商学系列科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学総論(2)	流通システム論(2)		マーケティング論(2)		マーケティング戦略論(2)			
初級簿記 I (2)	初級簿記 II (2)		株式会社と証券市場(2)		経済と株価(2)		株式会社と証券市場(2)	
	演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)			
	財務諸表分析(2)		企業評価論(2)		労務管理(2)		人事管理(2)	
	近代中小企業論(2)		現代中小企業論(2)		国際ビジネス論(2)		多国籍企業論(2)	

(注1)「演習」は通年科目

国際ビジネスコース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次			
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学総論(2) 初級簿記 I (2)	流通システム論(2) 初級簿記 II (2)		国際ビジネス環境論(2)		マーケティング論(2)		国際流通システム論(2)			
演習 I (4)			演習 II (4)			演習 III (4)				
商学系列科目			外国書講読1(2)		外国書講読2(2)		外国書講読4(2)			
			近代金融論(2)		現代金融論(2)		民法総則(2)		物権法(2)	
			商法総則・会社法総論(2)		会社法各論(2)		ミクロ経済学 I (2)		ミクロ経済学 II (2)	
			経営学総論 I (2)		経営学総論 II (2)		外国為替(2)		会計学入門(2)	
			会計制度論(2)		国際通貨(2)		経営管理基礎理論(2)		経営管理応用理論(2)	
			国際経済学 I (2)		国際経済学 II (2)					

(注1)「演習」は通年科目

会計コース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次			
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
初級簿記 I (2) 商学総論(2)	初級簿記 II (2) 流通システム論(2)		演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)			
商学系列科目			◎原価計算論 I (2)		◎会計情報論(2)		◎税法 I (2)			
			◎原価計算論 II (2)		◎会計情報システム論(2)		◎税法 II (2)		◎税法 II (2)	
			商法総則・会社法総論(2)		手形・小切手法(2)		金融商品取引法(2)		民法総則(2)	
			債権法総論(2)		債権法各論(2)		数理統計学(2)		物権法(2)	
			外国書講読1(2)		外国書講読2(2)		外国書講読3(2)		外国書講読4(2)	
			◎財務諸表分析(2)		◎企業評価論(2)		◎監査制度論(2)			
			経営学総論 I (2)		経営学総論 II (2)					

(注1)「演習」は通年科目

(注2) ◎は会計コースとして特に履修を推奨する科目

経済コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次					
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
経済学 I (2)		経済学 II (2)									
演習 I (4)		演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)					
統計学 (2) 近代金融論 (2)		数理統計学 (2) 現代金融論 (2)		外国書講読1 (2) マルクス経済学 I (2) 日本古代・中世経済史 (2) 株式会社と証券市場 (2) 株主と証券市場 (2) 開発経済学 (2) 入門計量経済学 (2) 近代日本経済論 (2) 国際貿易理論 (2) 国際通貨 (2) 近代中小企業論 (2) 地域経済学 I (2) 消費経済学 (家計と企業) (2) 労働経済学 I (2) 社会政策 I (2) 環境経済学 I (2)		外国書講読2 (2) マルクス経済学 II (2) 日本近世・近・現代経済史 (2) 経済と株価 (2) 開発政策論 (2) 応用計量経済学 (2) 現代日本経済論 (2) 国際貿易政策 (2) 外国為替 (2) 現代中小企業論 (2) 地域経済学 II (2) 消費経済学 (家計と政府) (2) 労働経済学 II (2) 社会政策 II (2) 環境経済学 II (2)		外国書講読3 (2)		外国書講読4 (2)	

人文自然系列科目・商学系列科目

(注1)「演習」は通年科目

(注2)経済原論(近代経済学)Ⅰ・Ⅱを必ず履修する。

情報コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
情報数学 (2) 初級簿記 I (2)		情報科学概論 (2) マルチメディア論 (2)					
演習 I (4)		演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)	
統計学 (2)		数理統計学 (2)		ソフトウェア論		会計学入門 (2) メディアデザイン (2)	
				経営学総論 I (2) 情報環境論 (2)		経営学総論 II (2) ネットワーク論 (2)	
						マーケティングシステム論 (2) マーケティング情報論 (2)	

商学系列科目

(注1)「演習」は通年科目

(注2)「プログラミングⅠ(システム開発系言語)・プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)」を履修する学生は、前年次に「情報科学概論・マルチメディア論」を修得すること

(注3)「プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)・プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)」を履修する学生は、「ソフトウェア論・アプリケーション論」も履修すること

スポーツキャリアコース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学総論(2)	商学総論(2)	流通システム論(2)	広告論(2)	広告政策論(2)	産業心理学(2)	人事教育心理学(2)	市場論(2)	市場戦略論(2)
初級簿記I(2)	初級簿記II(2)	マーケティング論(2)	マーケティング戦略論(2)	マーケティング戦略論(2)	社会政策I(2)	社会政策II(2)		
					会計学入門(2)	会計制度論(2)	国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)
							経営学総論I(2)	経営学総論II(2)
							流通戦略論I(2)	流通戦略論II(2)

商学系列科目

4.試験・成績評価・卒業について

1 評価の方法

各 Semester 終了時に、**成績評価**を行います。

成績評価の方法には以下のような形態があります。

- (1) 定期試験
- (2) レポート作成
- (3) 小テストなど

定期試験については、**担当教員の指示**により受験してください。

なお、**定期試験の時間割**は、定期試験開始の1週間前に **CGU ポータル**でお知らせします。

2 単位認定・GPAについて

1. 単位認定について

単位認定の結果は、「秀・優・良・可・不可」で表し、「秀・優・良・可」は合格とし所定の単位が与えられますが、「不可」は不合格とし単位不認定となります。

評価	素点	GP
秀	90 点以上	GP 4.0
優	89～80 点	GP 3.0
良	79～70 点	GP 2.0
可	69～60 点	GP 1.0
不可	59 点以下	GP 0.0

2. GPA(Grade Point Average)について

GPAとは、各科目の成績から特定の方法によって算出された学生の成績評価値のこと、あるいはその成績評価方式のことをいいます。留学の際など学力を測る指標となります。100点を満点として成績評価される(秀～不可の成績がつく)科目が対象となります。

GPAの算出方法は、履修登録した各授業科目の単位数にそれぞれのGPを掛けた値の合計を、単位数の合計(不可も含む)で割った数値となります。

$$GPA = \frac{(GP \times \text{単位数}) + (GP \times \text{単位数}) + (GP \times \text{単位数}) + \dots}{\text{単位数の合計(不可も含む)}}$$

3. 成績発表について

成績発表については、**CGU ポータル**で確認することができます。新年度の履修は主にこの成績を基に選択・履修していくことになります。(また、保証人宛にも「学業成績簿」を郵送します。)

3 定期試験の受験資格

定期試験を受験するには、原則として以下の条件が必要です。

1. 履修登録していること。
2. 授業回数の3分の2以上出席していること。
3. 授業料を納入していること。

4 定期試験受験上の注意事項

以下は基本的な注意事項です。科目によって、多少異なる場合もあります。担当教員・監督者の指示に従ってください。

1. **学生証**を机上に提示してください。
(学生証を忘れた場合、試験期間中1回(当日)に限り、教務課で「受験許可証」を発行します)
2. **15分以上遅刻**すると受験できません。また、**20分以上経過**しないと試験会場から退室できません。退室の場合は必ず答案用紙を提出してください。

※試験期間中の自動車・バイク通学での遅刻は理由になりません。(P. 25「遅延証明書について」)

3. テキストやノート等、**持込参照物は担当教員の指示に従ってください。**
4. 試験において不正行為をした者は「試験不正行為取締懲戒規程」に従い処分されます。(不正行為をした者は、以後の受験を停止し、「全科目無効」、「譴責」、「停学」等の処分が科せられます。
5. 情報端末(スマートフォン・携帯電話・タブレット・スマートウォッチ・携帯音楽プレイヤー等)を時計として使用することは一切認められません。試験開始前にこれらの電源は切りカバン等にしまっておいてください。万が一、電源が切れておらず試験中に着信音等があった場合、挙手をし監督者に知らせ、監督者の指示に従ってください。監督者の指示に従わない場合(監督者の指示を待たず携帯電話に触れる等)、不正行為とみなします。

5 追試験について

春セメスター試験または秋セメスター試験を表1の理由により受験できなかった者は、追試験を申し込むことができます。

追試験は、各セメスター末に1回行われます。(ただし、担当者の判断によって追試験を実施しない科目もあります。)

試験を希望する者は、指定された期日と手続き方法で申し込みを行ってください。

追試験実施の詳細は教務課掲示板またはCGUポータルでお知らせします。

(表 1)

受験できなかった理由	必要な証明書類及び届出の内容
本人の病気・けが・体調不良	医師の発行する診断書・レシート等 (加療期間がわかるもの)
交通機関の遅延	各種交通機関発行の遅延証明書 ※居住地からの公共交通機関に限る (自動車・二輪車での事故・渋滞等による遅延は一切認めない)
3親等内の血族または婚族の結婚式・死亡または通夜・告別式	招待状・会葬礼状等、公的証明書または日程がわかるもの
就職試験(選考面接を含む)	受験先企業が受験の事実を証明した書類 ※企業説明会や企業セミナーは認められません
裁判員制度による裁判員(候補者)への選出	裁判所より発行される証明書
教育免許状の取得にかかわる教育実習及び介護等体験への参加	学生からの提出が必要なものではありません

6 成績調査申請

成績評価(秀・優・良・可・不可)を受けた科目の中で、自身のレポート提出状況、試験の解答等から判断して成績評価に疑問がある場合には、成績についての調査を申請できます。

申請手続は、教務課のお知らせを確認してください。

7 単位修得不足に関する措置

1・2年次において単位が十分に修得できないと、その後の学年での勉学に大きな負担となるだけでなく、4年間で卒業が困難になることもあります。商学部では4年間で卒業できるように注意を喚起するため、修得単位の少ない学生には以下のように対応します。

以下のような警告等を受けることのないよう1年次から計画的に勉学に取り組んでください。

1. 1・2年次において、単位の修得が十分でない学生には、下記の基準により警告を行います。また、必要に応じて個別の指導を行います。
2. 2年次以降、未修得の必修科目は再履修し、単位を修得しなければなりません。

1年次終了時の修得単位数が20単位に達しない場合	成績不良注意
2年次終了時の修得単位数が46単位に達しない場合	成績不良注意勧告

※なお、3年次終了時に78単位以上修得していないと4年間で卒業することはできません。(78単位以上を修得しているも、必修科目および系列科目の単位が不足している等の場合には卒業できないこともあります。)

8 卒業

以下の条件を満たすと、卒業となります

1. 4年以上8年以内の**在学期間**(休学期間を除く)があること。
2. 体系的に教育課程を履修・修得し、卒業所要単位として126単位以上を修得していること。なお、**卒業時期**は、各セメスターの終了する**9月と3月**です。
3. 本学では、4年を超えて在学し、卒業所要単位を修得した場合には、9月卒業が可能です。なお、通常進級した新4年生は、9月末までの在学期間は3.5年ですので、9月卒業はできません。

5.その他

1 学生への連絡について

教務課からの各種連絡は、教務課掲示板又はCGUポータルを通して行うので、必ず毎日確認して下さい。

※連絡の見落としによる不利益は学生本人が負うこととなりますので注意してください。

1. 教室の変更
2. 授業の休講・・・科目の担当教員に、病気・出張等のやむを得ない事情が生じた場合、授業を休講とする場合があります。休講情報は、CGUポータルで確認することができます。
3. 授業に関する連絡事項
4. 呼び出し
5. その他、必要な連絡事項

2 学生による授業評価アンケート

本学では、科目ごとに「授業評価アンケート」を実施します。以下の趣旨や要領を理解の上、授業評価アンケートに協力してください。

1. 趣旨と要領
 - (1) 授業内容をより充実したものにするために、それぞれの授業の現状を把握・検討し、その改善を図ります。
 - (2) 授業に関連する施設(情報機器、体育関連施設、図書館等)をより充実したものにするためにその現状を把握し、その改善を図ります。
 - (3) 結果を公表します。
2. アンケートの回答方法

担当者の指示に従い、所定の方法でアンケートへ回答してください。

 - (1) 回答は無記名です。また、学生本人が特定される情報の記載はありません。したがって、誰が回答したか全くわからないようになっています。
 - (2) 回答が成績評価等に影響を与えることはありません。

3 入学前の既修得単位の認定

入学前に他の大学又は短期大学等において修得した単位については、審査により、30単位を超えない範囲で本学の単位として認定される場合があります。

希望者は1年次の授業開始日までに以下の申請書類を添えて教務課に提出してください。

1. 入学者の既修得単位認定願書
2. 認定希望の単位に関する証明書
3. 認定希望の単位に関する講義要項(写し)

なお、この単位認定により、修業年限の短縮・最大履修単位数の変更はありません。

4 欠席等に関する諸注意

1. 欠席について

病気・けが(学校感染症を除く)およびその他やむを得ない理由により授業を欠席する場合は、まずは、履修している各科目の教員へCGUポータル等からその旨の連絡をしてください。その後、教員の指示に従って対応してください。ただし、特別出席扱いとはならないので注意してください。また、長期(1ヶ月以上)にわたって欠席する場合は、学生課にも連絡してください。詳細な流れは、大学HPにて確認してください。

2. 部活動等による課外活動特別出席扱い願について

課外活動に参加するため授業を欠席する際は、各団体より課外活動届を学生課へ提出します。受付された課外活動届の写し(写真等)を各教員に提出してください。ただし、出席扱いとするかは各教員の判断になりますので必ず確認をしてください。

3. 就職活動による欠席について

就職活動(インターンシップ含む)により授業を欠席する場合は、就職課まで問い合わせてください。

4. 学校感染症における欠席について

学校保健安全法に規定された「学校において予防すべき感染症(はしか・インフルエンザ・風しん・おたふくかぜ・百日咳・水ぼうそう・新型コロナウイルス感染症など)」にかかった場合、まずは大学の保健センターへ連絡してください。保健センターにて所定の手続きをし、許可されますと「特別出席扱い」となり、学生課で対応します。

5. 教育実習・介護等体験における欠席について

教職課程2～3年次の介護等体験および4年次の教育実習期間の欠席については、「特別出席扱い」となります。特別出席扱いに該当する場合、教務課で対応します。

6. 遅延証明書について

電車の遅延によって授業に遅刻・欠席した場合、授業中の試験や定期試験を受験できなかった場合は、必ず利用駅で遅延証明書を受け取り、担当教員に申し出てください。

なお、車両(自動車、二輪車)通学での遅刻は「証明書」の発行が受けられないので、特に試験期間中は車両通学を自粛してください。

7. 教務課関係の諸届及び諸経費納入について

	諸届用紙名	備考
試験に関するもの	受験許可証	試験期間中 1 回に限り発行 (有効期限は発行日当日のみ)
	追試験申込書	追試験は各 Semester 末に実施 (22ページ参照)
成績に関するもの	学業成績簿	CGUポータルで確認可能 (「成績証明書」の申し込みは学生課)

5 天災や交通機関の運行中止の場合の授業と試験について

自然災害（地震・洪水・台風等）や公共交通機関の運行中止（運転見合わせ・不通・ストライキ）等で登校できない場合の授業や試験の休講措置、それに伴う代替措置は下記の通りとします。

1. 気象警報等が発令された場合

千葉県北西部東葛飾地域に大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪のいずれかの警報又は特別警報が発令された場合。

※他の地域に発令されても**対象となりません。**

自然災害の影響により、大学施設を安心・安全に利用するのが困難である場合。

2. 交通機関の運行中止の場合

自然災害等の影響により、JR常磐線快速とJR常磐線各駅停車（千代田線）の**両方において我孫子駅を含む区間が運休となった場合。**

※JR成田線、つくばエクスプレス、関東鉄道、JR武蔵野線、東武野田線（アーバンパークライン）等が運休となった場合は**対象となりません。**

3. 休講等の措置の判断について

前項1、2に基づき、休講措置を講じる場合、下記の通りとします。

判断基準時間	休講措置
原則として 休講が想定される前日の13時又は17時	午前（1・2時限）休講
	午後（3時限以降）休講
	終日休講（試験は延期）

※1、2にかかわらず、学長が、学生の安全確保等のため必要があると判断した場合は、休講等の措置を講じることがあります。

- 休講措置には該当しないが、自然災害等の影響により、通学経路上の公共交通機関が運休する等やむを得ない事情により遅刻・欠席した場合、交通機関の**遅延証明書**等を取得し、授業担当教員に申し出てください。
- 授業を休講とした場合は、授業担当教員の判断により、補講その他代替措置を講じることとします。
- 試験は可能な限り実施する予定ですが**都合により実施できない場合**もあります。
- 延期になった試験や補講の実施は、後日、教務課掲示板又はCGUポータルで案内します。
- 休講措置となった場合は、原則として課外活動禁止、学内施設閉鎖とします。

6 補講

やむを得ない理由で授業が休講になり(休講についてはP.24「**1** 学生への連絡について」を参照)、授業回数が不足した場合、**補講期間**に授業を行い休講分を補います。これを**補講**といいます。

詳細は**教務課掲示板又はCGUポータル**でお知らせします。**通常の曜日・時限と異なる場合**もありますので、掲示をよく確認してください。

7 コース変更

商学部では、2年次より希望のコースに分かれて学習しますが、**コースの変更**を在学中**1回のみ**許可します。変更の方法・時期は以下のとおりです。

1. 秋セメスター開始日から11月末までに**教務課**に申し出てください。
2. 教務課に申し出た際に申請用紙を貰い、速やかに希望する**コース主任の面接**を受け、許可印を得てください。
3. 許可印のある申請用紙を、教務課に**秋セメスター試験終了日まで**に提出してください。

8 転学部

本学の他学部に**転学部**を希望する者に対し、以下の要領に従って許可することがあります。

1. 在学期間中1回に限ります。
2. 転学部の学年は原則として2年次とする。(申請は1年次末)ただし、特別の事情がある場合に限り、3年次の転学部を認めます。
3. (2年次から転学部を希望する場合)1年次修了時に30単位以上修得していることが条件となります。
(3年次の場合は、2年次終了時に70単位以上修得していることが条件となります。)
4. 申請手続きは、原則1年次の2月初旬です。詳細は事前に教務課に問い合わせてください。
5. 審査は書類審査と面接審査です。
6. 審査結果は3月中に通知します。
7. 許可通知後、定められた期間内に所定の手続きが行われない場合は、辞退したことになります。

6.教職課程

本学では、所定の単位を修得することによって、中学校および高等学校の教員になるための各種の教育職員免許状(以下免許状と記載します)を取得することができます。日々生徒に接し、彼らを伸ばし育てていく教職は、たいへんにやりがいのある仕事です。

ただし、免許状を取得するには、大学卒業のための単位以外に多数の科目を修得することが必要で、中途半端な勉強では取得できません。卒業に向けての勉強に励むとともに、教職課程の諸科目についても1年次から明確な目的意識をもって計画的に履修することが必要です。以下の説明をよく読み、ガイダンスを受けて履修の申請をしてください。

コラム:中央学院大学のルーツと教職課程の現在

<建学の精神と教職課程の歴史>

本学のルーツは、明治 33(1900)年設立の「日本橋簡易商業夜学校」、明治 35 年(1902)創立の「中央商業学校」まで、さかのぼることができる。イギリスで研鑽を積んだ仏教学者高楠順次郎によって実学重視の仏教系の学校として創立された。

高楠順次郎は、イギリス留学中に、紳士的で社会的地位も高いイギリス商人を目の当たりにして感銘を受けた。帰国後、日本においても、教養と倫理観を身に着けた商人の育成を行うことが急務であると考え、勤労青年を対象とする夜間学校を創立した。その後、幾多の変遷を経て、昭和 41(1966)年に中央学院大学が創立された。

大学開学 2 年後、昭和 43(1968)年、本学に教職課程が開設された。師範学校中心の太平洋戦争前の教員養成制度とは異なり、戦後は、教員養成が一般大学でも可能になったことの意義は大きい。本学でも、教職課程を開設することが可能になり、それによって、勤労青年を教育しようとした創立者の精神を新たな形で具現化することができたと考えられる。実学重視の精神と戦前から商業教育を行ってきた伝統もあり、まずは、職業科教育(中学校一級普通免許状)、商業科教育(高等学校二級普通免許状)の免許の教職課程を申請し認定された。

その後、「中学校社会」、「高等学校社会」の教職課程を昭和 47(1972)年に開設することができた。大学独自の建学の精神として「公正な倫理観」をかかげるようになった本学としては、将来、市民として生きる生徒たちに社会とその営みについて教えることを目的とする教科の教職課程を開設することは当然であった。

ところで、平成元(1989)年の教育職員免許法の改正により、「高等学校社会」は、「高等学校公民」と「高等学校地理歴史」という2つの免許教科に分割された。本学では、どちらの教科も社会人を育成するための重要な教科であるという認識から、商・法両学部で、「高等学校公民」と「高等学校地理歴史」の教員免許が取得可能であるように課程を開設している。

さらに平成 12(2000)年、社会全体の情報化の波のなかで、教員免許法が改正され、新たに「高等学校情報」が免許教科として創設された。現代にふさわしい実学指導を行う教科として、本学では、さっそく「高校情報」のための教職課程を開設した。

1 取得できる免許状の種類と免許教科

商学部では、以下の教科のいずれかまたは複数の教科の免許状を取得することができます。

《表1》取得できる免許状の種類と免許教科

免許の種類	教科
中学校教諭一種免許状	社会
高等学校教諭一種免許状	地理歴史
	公民
	商業
	情報

2 免許状を取得するための条件

免許状を取得するには、以下の4つの条件をすべて満たす必要があります。

《図1》免許状取得の条件(概要)

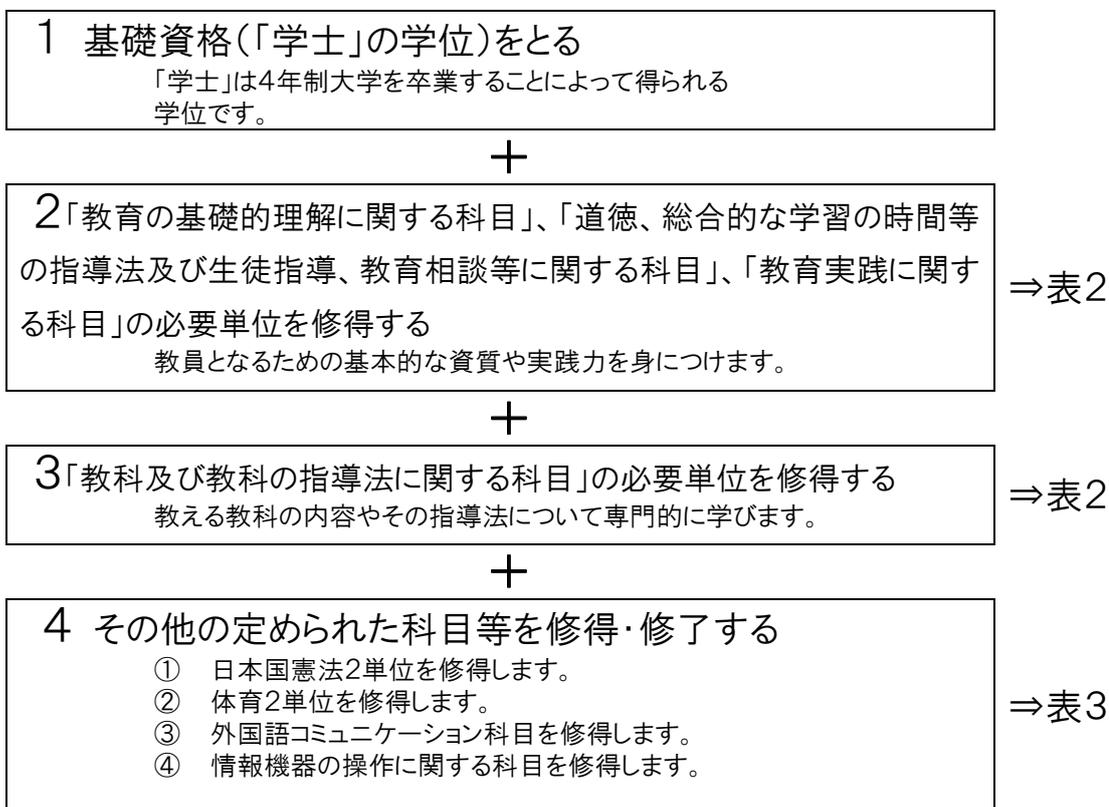


図1の概要をより詳しく説明すると、次のとおりとなります。(表2)(表3)

《表2》「教育の基礎的理解に関する科目」等及び「教科及び教科の指導法に関する科目」

	必要単位数		備 考
教育の基礎的理解に関する科目等	中学校27単位以上 高等学校23単位以上	合計 59単 位 以上	⑥の教職課程科目表に従って履修し、必修科目および選択必修科目を含め合計59単位以上修得すること。
教科及び教科の指導法に関する科目	中学校28単位以上 高等学校24単位以上		

《表3》その他の定められた科目等

日本国憲法	「憲法(2単位)」 (人文・自然系選択科目)の修得	
体育	「健康スポーツ実技Ⅰ」・ 「健康スポーツ実技Ⅱ」 (各1単位)の修得	1年次必修科目
外国語コミュニケーション	「英会話」・ 「英語リスニング・スピーキング(LL)」 (各1単位)の修得	1年次必修科目
情報機器の操作	「情報リテラシー」・ 「情報処理論」 (各2単位)の修得	1年次必修科目

3 履修上の注意

①教職課程の履修のしかたは法令改正のため入学年度により異なります。必ず自分の入学年度に対応する科目表に従って履修してください。

②「教職概論」は1年次の必修科目です。この科目を修得しないと、教職課程の継続履修は認められません。また、年間の修得単位数が著しく少ない場合にも、教職課程の継続履修を認められない場合があります。

③「教育の基礎的理解に関する科目」等の全科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」の一部の科目は、卒業所要単位には含まれません。(科目表参照)

ただし、中学社会科および高校地理歴史科の「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、以下の科目については、最高12単位まで卒業所要単位に含むことができます。詳しくはP11「⑨単位の振り替えについて」を参照してください。

日本史概説Ⅰ (2単位)	日本史概説Ⅱ (2単位)
外国史概説Ⅰ (2単位)	外国史概説Ⅱ (2単位)
日本史特論Ⅰ (2単位)	日本史特論Ⅱ (2単位)
人文地理学概論 (2単位)	地誌学概説 (2単位)
自然地理学概論Ⅰ(2単位)	自然地理学概論Ⅱ(2単位)

④教職課程履修者は、2年次以降「教職課程受講料」として年次ごとに5,000円を納入しなければなりません。

⑤教職課程の連絡事項はCGUポータルでお知らせします。重要な連絡事項が多いので、毎日必ず確認してください。

4 教育実習生の要件

教育実習を行うには、原則として次の①～②の要件を全て満たさなければなりません。

①4年次であること。

②<中学校>

(1)下記の科目を修得済みであること。

○「教職の基礎的理解に関する科目」の全て(12 単位)

○「道徳教育」(2単位)「教育方法」(2 単位)「情報通信技術活用論」(2 単位)「教育実習 I」(1 単位)
「介護等体験 I・II」(計 2 単位)

(2)「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、実習教科の教科教育法(8 単位)を含む 36 単位を修得済みであること。

<高等学校>

(1)下記の科目を修得済みであること。

○「教職の基礎的理解に関する科目」の全て(12 単位)

○「教育方法」(2 単位)「情報通信技術活用論」(2 単位)「教育実習 I」(1 単位)
「介護等体験 I・II」(計 2 単位)

(2)「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、実習教科の教科教育法 4 単位を含む 32 単位を修得済みであること。

(3)商業科に関しては、以下の科目を修得済みであること。

○「職業指導 I・II」

○「商学総論」及び「流通システム論」

○「中級簿記 I・II」又は「上級簿記 I・II」

○「プログラミング I (ビジネス処理系言語)」及び「プログラミング II (データ処理系言語)」

(4)情報科に関しては、以下の科目を修得済みであること。

○「Web データベース」

○「ネットワーク論」

○「マルチメディア論」

○「プログラミング I (システム開発系言語)」及び「プログラミング II (応用システム開発系言語)」

又は「プログラミング I (ソフトウェア開発系言語)」及び「プログラミング II (応用ソフトウェア開発系言語)」

2・3年次の終わりには、必要な単位を修得しているか、各自、チェックしましょう。

また、教職適性についても、考えてみてください。

5 教職課程年間スケジュール

		1年次	2年次	3年次	4年次
春 セ メ ス タ ー	4月	<ul style="list-style-type: none"> 教職課程履修ガイダンス (プライムセミナー) 教職科目履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> 教職課程履修ガイダンス 履修個人票の提出 介護等体験Ⅰガイダンス 介護等体験申込 (社会福祉施設) 教職科目履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> 教職課程履修ガイダンス 介護等体験Ⅱガイダンス 介護等体験報告 介護等体験申込 (特別支援学校) 教職科目履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> 教職課程履修ガイダンス 教職科目履修登録
	5月		教育実習予定校に打診 《介護等体験》 ・社会福祉施設5日間 (5月～翌年2月)	《教育実習校決定の手続》 実習を希望する学校の 内諾をとる ↓ 「教育実習依頼申込書」 を教務課に提出 ↓ 「教育実習受入依頼書」 を大学から実習校へ送付 ↓ 実習校からの承諾書で 教育実習校が決定	教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 5月～11月 個別事前事後指導
	6月				
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 「教職概論」合否発表 		《介護等体験》 ・特別支援学校 (5月～翌年2月)	
秋 セ メ ス タ ー	10月			<ul style="list-style-type: none"> 教育実習Ⅰ (中学校高校での授業見学) 	
	11月		(教育実習報告会)	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習Ⅰ (教育実習報告会) 	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習報告会 教職実践演習(集中) 教育職員免許状一括申請説明会
	12月				<ul style="list-style-type: none"> 免許状申請書類提出 (教務課)
	2月			<ul style="list-style-type: none"> 教育実習Ⅰ (教育実習事前指導) 	
3月				<ul style="list-style-type: none"> 教育実習生適格判定 	<ul style="list-style-type: none"> 教育職員免許状授与 (卒業式当日)

6 教職課程科目表

a. 「教育の基礎的理解に関する科目」等(各免許教科共通)

<各免許教科共通>

	科目区分	科目名(注1)	配当年次	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育原論	1	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○教職概論	1	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育制度論	2・3	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	1	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	2・3	2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論	2・3	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育	2～4	2	(注2)
	総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2～4	2	
	特別活動の指導法	○特別活動の指導法	2～4	2	
	教育の方法及び技術	○教育方法	2・3	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○情報通信技術活用論	2・3	2	
	生徒指導の理論及び方法	○生徒指導及び教育相談	3・4	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○生徒指導及び進路指導	2～4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	○教育実習Ⅰ	3	1	
		教育実習Ⅱ	4	2	(注2)
		○教育実習Ⅲ	4	2	
	教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	4	2	

(注1)○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2)中学校1種免許状を取得する場合、「道徳教育」、「教育実習Ⅱ」を必修とする。

高等学校1種免許状(情報)「情報科教育法Ⅰ」及び「情報科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状のみ取得する場合、「道徳教育」は選択科目となり、表2の必要単位59単位に含めることができる。

b. 「教科及び教科の指導法に関する科目」

(1) 中学校教諭一種免許状(社会)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	備考	修得 チェック欄
日本史及び外国史	○日本史概説Ⅰ	○日本史概説Ⅱ	各2		
	○外国史概説Ⅰ	○外国史概説Ⅱ	各2		
地理学	○人文地理学概論		2		
	○自然地理学概論Ⅰ	○自然地理学概論Ⅱ	各2		
	○地誌学概説		2		
「法学、政治学」	○政治学概論Ⅰ	○政治学概論Ⅱ	各2		
	民法総則	物権法	各2		
	労働法の基礎	労働法の応用	各2		
	経済法Ⅰ	経済法Ⅱ	各2		
「社会学、経済学」	○社会学概論Ⅰ	○社会学概論Ⅱ	各2		
	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ	各2		
	マルクス経済学Ⅰ	マルクス経済学Ⅱ	各2		
	経済史Ⅰ	経済史Ⅱ	各2		
	公共経済学Ⅰ	公共経済学Ⅱ	各2		
	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅱ	各2		
	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ	各2		
	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ	各2		
	入門計量経済学	応用計量経済学	各2		
	消費経済学(家計と企業)	消費経済学(家計と政府)	各2		
	労働経済学Ⅰ	労働経済学Ⅱ	各2		
	市場論	市場戦略論	各2		
	地域経済学Ⅰ	地域経済学Ⅱ	各2		
「哲学、倫理学、 宗教学」	哲学概論Ⅰ	哲学概論Ⅱ	各2	(注2)	
	倫理学概論Ⅰ	倫理学概論Ⅱ	各2	(注2)	
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を 含む。)	○社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	○社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	各2		
	○社会科・公民科教育法Ⅰ	○社会科・公民科教育法Ⅱ	各2		
大学が独自に設定す る科目	○介護等体験Ⅰ	○介護等体験Ⅱ	各1		
	地理学総合演習(人文)	地理学総合演習(自然)	各2		
	現代教育論	教育政策と教育法	各2		
	ボランティア実習Ⅰ	ボランティア実習Ⅱ	各2		

(注1)○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2)いずれかのⅠ・Ⅱをそろえて計4単位選択必修。

(2)高等学校教諭一種免許状(地理歴史)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	備考	修得 チェック欄
日本史	○日本史概説Ⅰ	○日本史概説Ⅱ	各2		
	○日本史特論Ⅰ	○日本史特論Ⅱ	各2		
	日本文化史Ⅰ	日本文化史Ⅱ	各2		
	日本古代・中世経済史	日本近世・近・現代経済史	各2		
外国史	○外国史概説Ⅰ	○外国史概説Ⅱ	各2		
	外国史特論Ⅰ	外国史特論Ⅱ	各2		
	外国文化史Ⅰ	外国文化史Ⅱ	各2		
	経済史Ⅰ	経済史Ⅱ	各2		
	☆政治史(外国政治史)1	☆政治史(外国政治史)2	各2		
	☆東洋法制史1	☆東洋法制史2	各2		
	☆西洋法制史1	☆西洋法制史2	各2		
人文地理学 及び 自然地理学	○人文地理学概論		2		
	人文地理学特論Ⅰ	人文地理学特論Ⅱ	各2		
	○自然地理学概論Ⅰ	○自然地理学概論Ⅱ	各2		
	自然地理学特論Ⅰ	自然地理学特論Ⅱ	各2		
	地域経済学Ⅰ	地域経済学Ⅱ	各2		
地誌	○地誌学概説		2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○社会科・地理歴史科教育法Ⅰ		2		
	○社会科・地理歴史科教育法Ⅱ		2		
大学が独自に設定する科目	○介護等体験Ⅰ	○介護等体験Ⅱ	各1		
	地理学総合演習(人文)	地理学総合演習(自然)	各2		
	現代教育論	教育政策と教育法	各2		
	ボランティア実習Ⅰ	ボランティア実習Ⅱ	各2		

(注1)○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

☆印の法学部設置科目は、4科目の範囲で履修できる。

(注2)「日本法制史」の卒業所要単位への算入については、P. 12を参照のこと。

(3)高等学校教諭一種免許状(公民)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	備考	修得 チェック欄
「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	○政治学概論Ⅰ	○政治学概論Ⅱ	各2		
	民法総則	物権法	各2		
	労働法の基礎	労働法の応用	各2		
	経済法Ⅰ	経済法Ⅱ	各2		
	税法Ⅰ	税法Ⅱ	各2		
	☆国際法Ⅰ	☆国際法Ⅱ	各2		
	☆国際関係論Ⅰ	☆国際関係論Ⅱ	各2		
「社会学、経済学(国際経済 を含む。)」	○社会学概論Ⅰ	○社会学概論Ⅱ	各2		
	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ	各2		
	マルクス経済学Ⅰ	マルクス経済学Ⅱ	各2		
	地域経済学Ⅰ	地域経済学Ⅱ	各2		
	労働経済学Ⅰ	労働経済学Ⅱ	各2		
	市場論	市場戦略論	各2		
	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ	各2		
	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ	各2		
	入門計量経済学	応用計量経済学	各2		
	公共経済学Ⅰ	公共経済学Ⅱ	各2		
	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅱ	各2		
	国際ビジネス論	多国籍企業論	各2		
	国際貿易理論	国際貿易政策	各2		
「哲学、倫理学、宗教学、心 理学」	哲学概論Ⅰ	哲学概論Ⅱ	各2	(注2)	
	倫理学概論Ⅰ	倫理学概論Ⅱ	各2	(注2)	
	心理学概論Ⅰ	心理学概論Ⅱ	各2	(注2)	
各教科の指導法(情報通信 技術の活用を含む。)	○社会科・公民科教育法Ⅰ	○社会科・公民科教育法Ⅱ	各2		
大学が独自に設定する科目	○介護等体験Ⅰ	○介護等体験Ⅱ	各1		
	地理学総合演習(人文)	地理学総合演習(自然)	各2		
	現代教育論	教育政策と教育法	各2		
	ボランティア実習Ⅰ	ボランティア実習Ⅱ	各2		

(注1)○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

☆印の法学部設置科目は、4科目の範囲で履修できる。

(注2)いずれかのⅠ・Ⅱをそろえて8単位選択必修。

(4) 高等学校教諭一種免許状(商業)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	備考	修得 チェック欄
職業指導	○職業指導Ⅰ	○職業指導Ⅱ	各2		
商業の関係科目	○商学総論	○流通システム論	各2		
	初級簿記Ⅰ	初級簿記Ⅱ	各2		
	情報リテラシー	情報処理論	各2		
	○経営学総論Ⅰ	○経営学総論Ⅱ	各2		
	広告論	広告政策論	各2		
	株式会社と証券市場	経済と株価	各2		
	近代金融論	現代金融論	各2		
	会計学入門	会計制度論	各2		
	債権法総論	債権法各論	各2		
	商法総則・会社法総論	会社法各論	各2		
	近代商業史	現代商業史	各2		
	経営管理基礎理論	経営管理応用理論	各2		
	企業の財務活動	財務的意思決定	各2		
	労務管理	人事管理	各2		
	国際通貨	外国為替	各2		
	国際ビジネス環境論		2		
	国際ビジネス戦略論(理論編)	国際ビジネス戦略論(実践編)	各2		
	国際マーケティングの基礎理論	国際マーケティング業務	各2		
	ビジネスコミュニケーション論	異文化間コミュニケーション論	各2		
	国際ビジネス実務	国際ビジネス実践	各2		
	中級簿記Ⅰ	中級簿記Ⅱ	各2	(注2)	
	上級簿記Ⅰ	上級簿記Ⅱ	各2	(注2)	
	原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ	各2		
	会計情報論	会計情報システム論	各2		
	手形・小切手法	金融商品取引法	各2		
		数理統計学	2		
	財務諸表論	会計原則論	各2		
	財務諸表分析	企業評価論	各2		
	監査制度論	監査報告論	各2		
	管理会計総論	管理会計論	各2		
	法人税・税務会計	所得税・税務会計	各2		
	開発経済学	開発政策論	各2		
	国際経済学Ⅰ	国際経済学Ⅱ	各2		
		経営数学	2		
		経営科学	2		
		プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)	プログラミングⅡ(データ処理系言語)	各2	(注2)
		マーケティングシステム論	マーケティング情報論	各2	
		近代中小企業論	現代中小企業論	各2	
		e-コマース	コンテンツ開発	各2	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○商業科教育法Ⅰ	○商業科教育法Ⅱ	各2	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験Ⅰ	○介護等体験Ⅱ	各1		
	地理学総合演習(人文)	地理学総合演習(自然)	各2		
	現代教育論	教育政策と教育法	各2		
	ボランティア実習Ⅰ	ボランティア実習Ⅱ	各2		

(注1)○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2)いずれか8単位選択必修。

(5) 高等学校教諭一種免許状(情報)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	*備考	修得 チェック欄
情報社会(職業に関する 内容を含む。)・情報倫理	○情報社会と倫理		2		
コンピュータ・情報処理	○コンピュータコミュニケーション		2		
	○コンピュータの構成		2		
	○ソフトウェア論		2		
	○統計学		2		
	○情報数学		2		
	プログラミング I (システム開発系言語)		2	(注2)	
	プログラミング II (応用システム開発系言語)		2	(注2)	
	プログラミング I (ソフトウェア開発系言語)		2	(注2)	
	プログラミング II (応用ソフトウェア開発系言語)		2	(注2)	
	○情報科学概論		2		
情報システム	データベース		2		
	○Web データベース		2		
	○メディアデザイン		2		
	○システム設計論		2		
	○アプリケーション論		2		
情報通信ネットワーク	○ネットワーク論		2		
	○情報環境論		2		
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○マルチメディア論		2		
	○シミュレーション		2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○情報科教育法 I	○情報科教育法 II	各 2		
大学が独自に設定する科目	○介護等体験 I	○介護等体験 II	各 1		
大学が独自に設定する科目	地理学総合演習(人文)	地理学総合演習(自然)	各 2		
	現代教育論	教育政策と教育法	各 2		
	ボランティア実習 I	ボランティア実習 II	各 2		

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) プログラミングについては I・II をそろえて4単位必修。

教職課程履修科目および単位修得の方法(高等学校地理歴史科)

○印は本学教職課程必修科目

科目区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における 必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教育の基礎的理解に関する科目等(18単位以上)	○教職概論(2)	○教育原論(2) ○教育心理学(2)	○教育概論(2) ○教育方法(2) ○教育課程論(2) ○特別支援教育(2) ○情報通信技術活用論(2)	○特別活動の指導法(2) ○総合的な学習の時間の指導法(2) ○生徒指導及び進路指導(2) ○道徳教育(2)	○教育実習Ⅰ(1)	○教育実習Ⅱ(2) ○教育実習Ⅲ(2)	○教育実践演習(2)		24単位 必修
	教育実践に 関する科目 (5単位以上)	○教育実習	○教育実習Ⅰ(1)	○教育実習Ⅱ(2) ○教育実習Ⅲ(2)	○教育実践演習(2)				3単位 必修
教科及び教科の指導法に関する科目 (24単位以上)	○日本史概説Ⅰ(2) ○日本史概説Ⅱ(2) ○日本史特論Ⅰ(2) ○日本史特論Ⅱ(2)	○日本文化Ⅰ(2) ○日本文化Ⅱ(2)	○日本文化Ⅰ(2) ○日本文化Ⅱ(2) ○日本近世・近・現代経済史(2)	○外国史概説Ⅰ(2) ○外国史概説Ⅱ(2) ○外国史特論Ⅰ(2) ○外国史特論Ⅱ(2)	○外国史特論Ⅰ(2) ○外国史特論Ⅱ(2) ○外国史特論Ⅲ(2)	○外国史特論Ⅰ(2) ○外国史特論Ⅱ(2) ○外国史特論Ⅲ(2)	○外国史特論Ⅰ(2) ○外国史特論Ⅱ(2) ○外国史特論Ⅲ(2)	○外国史特論Ⅰ(2) ○外国史特論Ⅱ(2) ○外国史特論Ⅲ(2)	4単位 必修 ☆印は 法学部 開設科 開設科 目
	人文地理 学・自然地理	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	○人文地理学特論Ⅰ(2) ○自然地理学特論Ⅰ(2) ○人文地理学特論Ⅱ(2) ○自然地理学特論Ⅱ(2)	6単位 必修
大学が独自に 設定する科目 (12単位 以上)	○憲法(2)	○情報機器の 操作	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)	○介護等体験Ⅰ(1)	○介護等体験Ⅱ(1)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	2単位 必修
	教育免許状 取得に必要な その他の科目 (10単位 以上)	○憲法(2)	○情報機器の 操作	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)	○介護等体験Ⅰ(1)	○介護等体験Ⅱ(1)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	2単位 必修
各教科の指 導法	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	2単位 必修
	各教科の指 導法	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	○地誌学概説(2)	4単位 必修
24単位 必修	○憲法(2)	○情報機器の 操作	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)	○介護等体験Ⅰ(1)	○介護等体験Ⅱ(1)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	2単位 必修
	○憲法(2)	○情報機器の 操作	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)	○介護等体験Ⅰ(1)	○介護等体験Ⅱ(1)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	2単位 必修
49単位 以上修 得する こと	○憲法(2)	○情報機器の 操作	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)	○介護等体験Ⅰ(1)	○介護等体験Ⅱ(1)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	2単位 必修
	○憲法(2)	○情報機器の 操作	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)	○介護等体験Ⅰ(1)	○介護等体験Ⅱ(1)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	○ボランティア実習Ⅰ(2) ○ボランティア実習Ⅱ(2)	2単位 必修

教職課程履修科目および単位修得の方法(高等学校公民科)

○印は本学教職課程必修科目

科目区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における 必修単位数等)
	第 1 セメスター	第 2 セメスター	第 3 セメスター	第 4 セメスター	第 5 セメスター	第 6 セメスター	第 7 セメスター	第 8 セメスター	
教育の基礎的 理解に関する 科目等(18単 位以上)	○教職概論(2)	○教育原論(2) ○教育心理学(2)	○教育概論(2) ○教育心理学(2) ○情報通信技術活用論(2)	(第3～第8セメスター履修可能科目) ○教育制度論(2) ○教育方法(2) ○教育課程論(2) ○特別支援教育(2) ○情報通信技術活用論(2)	○特別活動の指導法(2) ○総合的な学習の時間の指導法(2) ○生徒指導及び進路指導(2) 道徳教育(2) (第5～第8セメスター履修可能科目) ○生徒指導及び教育相談(2) ○教育実習Ⅰ(1)	○教育実習Ⅱ(2) ○教育実習Ⅲ(2) ○教職実践演習(2)			24 単位 必修
	教育実習 教職実践 演習								3 単位 必修 2 単位 必修 4 単位 必修
法律学 (国際法を 含む)、 政治学 (国際政治 を含む)	(第1～第6セメスター履修可能科目)○政治学概論Ⅰ(2)	(第1～第8セメスター履修可能科目) 民法総則(2) 物権法(2)	(第3～第8セメスター履修可能科目) 経済法Ⅰ(2) 経済法Ⅱ(2) 労働法の基礎(2) 労働法の応用(2) 税法Ⅰ(2) 税法Ⅱ(2) ☆国際法Ⅰ(2) ☆国際法Ⅱ(2)	☆国際法Ⅰ(2) ☆国際法Ⅱ(2)	☆国際法Ⅰ(2) ☆国際法Ⅱ(2)				4 単位 必修 ☆印は 法学部 設置科 設置科 目
	哲学、倫理 学、宗教 学、心理学	(第1～第6セメスター履修可能科目) ○社会学概論Ⅰ(2) ○社会学概論Ⅱ(2)	(第3～第8セメスター履修可能科目) 入門国民所得論(2) 応用国民所得論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 地域経済学Ⅱ(2) 国際貿易理論(2) 国際貿易政策(2) 入門計量経済学(2) 応用計量経済学(2) 社会政策Ⅰ(2) 社会政策Ⅱ(2) 国際ビジネス論(2) 多国籍企業論(2) 市場論(2) 市場戦略論(2) 、ミクロ経済学Ⅰ(2) 、ミクロ経済学Ⅱ(2) マルクス経済学Ⅰ(2) マルクス経済学Ⅱ(2)	(第5～第8セメスター履修可能科目) 公共経済学Ⅰ(2) 公共経済学Ⅱ(2) 労働経済学Ⅰ(2) 労働経済学Ⅱ(2)					4 単位 必修 59 単位 以上修 得するこ と
大学が独自に 設定する科目 (12 単位 以上)	(第1～第8セメスター履修可能科目) 哲学概論Ⅰ(2) 哲学概論Ⅱ(2) 倫理学概論Ⅰ(2) 心理学概論Ⅰ(2) 心理学概論Ⅱ(2)			○介護等体験Ⅰ(1) 地理学総合演習(自然)(2) 地理学総合演習(人文)(2) ポラリティア実習Ⅰ(2) ポラリティア実習Ⅱ(2)					8 単位 選択必 修 4 単位 必修 2 単位 必修
	各教科の 指導法								2 単位 必修
教育免許状 取得に必要 なその他の 科目 (10 単位 以上)	日本国憲 法	○憲法(2)			○社会科・公民科教育法Ⅰ(2) ○社会科・公民科教育法Ⅱ(2)				2 単位 必修
	情報機器 の操作	○情報リテラシー(2) ○情報処理論(2)							4 単位 必修
外国語コミ ュニケーシ ョン	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)								2 単位 必修
	体育	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)							2 単位 必修

教職課程履修科目および単位修得の方法(高等学校商業科)

○印は本学教職課程必修科目 △印は本学教職課程選択必修科目

科目区分 ()内は法上必要とされる単位数	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における必修単位数等)
	第 1 セメスター	第 2 セメスター	第 3 セメスター	第 4 セメスター	第 5 セメスター	第 6 セメスター	第 7 セメスター	第 8 セメスター	
教育の基礎的 理解に関する 科目等 (18 単位 以上)	○教職概論(2)	○教育原論(2) ○教育心理学(2)	○教育方法(2)○教育課程論(2) ○特別支援教育(2) ○情報通信技術活用論(2)	(第3～第6セメスター履修可能科目) ○教育制度論(2) ○教育方法(2)○教育課程論(2) ○特別支援教育(2) ○情報通信技術活用論(2)	(第3～第8セメスター履修可能科目) ○生徒指導及び進路指導(2) ○特別活動の指導法(2) ○総合的な学習の時間の指導法(2) ○生徒指導及び教育相談(2) (第5～第8セメスター履修可能科目) ○生徒指導及び教育相談(2)	教育実習Ⅱ(2) ○教育実習Ⅲ(2) ○教職実践演習(2)	24 単位 必修	24 単位 必修	
教育実践に関 する科目(5単 位以上)	教育実習 教職実践 演習				○教育実習Ⅰ(1)		3 単位 必修	3 単位 必修	
職業指導			(第3～第6セメスター履修可能科目) ○職業指導Ⅰ(2) ○職業指導Ⅱ(2)				4 単位 必修	4 単位 必修	
教科及び教科 の指導法に関 する科目(24 単位 以上)	商業の 関係科目	(第1～第8セメスター履修可能科目) ○商学総論(2)○流通システム論(2)	(第1～第8セメスター履修可能科目) 情報リテラシー(2) 近代商業史(2) 現代商業史(2) △中級簿記Ⅰ(2) △中級簿記Ⅱ(2) △上級簿記Ⅰ(2) △上級簿記Ⅱ(2) 会計学入門(2) 会計制度論(2)	(第5～第6セメスター履修可能科目) 経営管 理基礎理論(2) 経営応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 国際マーケティング業務(2) 財務諸表論(2) 会計原則論(2) △プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2) △プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2)	企業の財務活動(2) 財務的意志決定(2)ビジネ スコミュニケーション論(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計総論(2)管理会計論(2) 国際経済学Ⅰ(2) 国際経済学Ⅱ(2) 法人税務学Ⅰ(2) 所得税務会計(2)e-コ マース(2) コンテンツ開発(2) 経営科学(2)	4 単位 必修	4 単位 必修	59 単位 以上修 得する こと	
大学が独自に 設定する(4 単位)	各教科の 教育法		(第3～第8セメスター履修可能科目) 広告論(2) 広告戦略論(2)労務管理(2) 人事管理(2) 国際ビジネス環境論(2) 数理統計学(2) 国際通関(2) 外国為替(2) 原価計算論Ⅰ(2) 原価計算論Ⅱ(2) 監査報告論(2) 商法総則・会社法総論(2) 会社法各論(2) 手形・小切手法(2) 金融商品取引法(2) 債権法総論(2) 債権法各論(2) 会計情報論(2) 会計情報システム論(2)株式会社と証券市場(2) 経 済と株価(2) 財務諸表分析(2) 企業評価論(2) 近代中小企業論(2) 現代中小企業論(2) 近代金融論(2) 現代金融論(2) 関税経済学(2) 関税経済学(2) マーケティングシステム論(2) マーケティング情報論(2) 経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2)				4 単位 必修	2 単位 必修	
教育免許状 取得に必要な その他の科目 (10 単位 以上)	日本国憲 法 情報機器 の操作 外国語コ ミュニケー ション 体育	○憲法(2)	○情報リテラシー(2) ○情報処理論(2)	○介護等体験Ⅰ(1)	○商業科教育法Ⅰ(2) ○商業科教育法Ⅱ(2) ○介護等体験Ⅰ(1)	○商業科教育法Ⅰ(2) ○商業科教育法Ⅱ(2) ○介護等体験Ⅰ(1)	2 単位 必修	4 単位 必修	

教職課程履修科目および単位修得の方法(高等学校情報科)

○印は本学教職課程必修科目

科目区分 ()内は法令上必要とされる単位数	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教育の基礎的理論に関する科目等(18単位以上)	○教職概論(2)	○教育原論(2) ○教育心理学(2)	○第3～第6セメスター履修可能科目) ○教育制度論(2) ○教育方法(2) ○教育課程論(2) ○特別支援教育(2) ○情報通信技術活用論(2)	○第3～第8セメスター履修可能科目) ○特別活動の指導法(2) ○総合的な学習の時間の指導法(2) ○生徒指導及び進路指導(2) ○生徒指導及び教育相談(2)	○第5～第8セメスター履修可能科目) ○教育実習Ⅰ(1)	○教育実習Ⅱ(2) ○教育実習Ⅲ(2) ○教職実践演習(2)			24単位必修
教育実践に関する科目(5単位以上)	教育実習	教職実践演習							3単位必修 2単位必修
教科及び教科の指導法に関する科目(24単位以上)	情報社会・職業に関する内容を含む。)・情報倫理	○情報社会と倫理(2)							2単位必修
	コンピュータ・情報処理	(第1～第8セメスター履修可能科目) ○情報数学(2) ○情報科学概論(2)	○コンピュータコミュニケーション(2) ○ソフトウェア論(2)○統計学(2) ※プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2) ※プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2) ※プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)(2) ※プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)	○コンピュータの構成(2)					16単位必修 ※同一言語Ⅰ、Ⅱを選択必修
大学が独自に設定する(4単位)	情報システム		○アプリケーショ論(2)						8単位必修
	情報通信ネットワーク								4単位必修
教員免許状取得に必要なその他の科目(10単位以上)	マルチメディア表現・マルチメディア技術								4単位必修
	各教科の指導法								4単位必修
大学が独自に設定する(4単位)	日本国憲法	○憲法(2)							2単位必修
	情報機器の操作	○情報リテラシー(2) ○情報処理論(2)							4単位必修
大学が独自に設定する(4単位)	外国語コミュニケーション	○英会話(1) ○英語リスニング・スピーキング(LL)(1)							2単位必修
	体育	○健康スポーツ実技Ⅰ(1) ○健康スポーツ実技Ⅱ(1)							2単位必修

7.商学部のカリキュラムマップ

本学では、建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもと、「少数教育を通じて公正な社会観と倫理観を涵養し、人権感覚や共生意識を育むことにより、複雑化する現代社会を生き抜くための実力と創造力を備え、社会に貢献できる有能な人材を育成する」という教育の理念を掲げています。本学は、教育活動における三つの方針（「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」、「入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」)を設定し、「学修者本位の教育」を実現できるように取り組んでいます。

4年間の学びのなかで体系的な履修を行うことができるように、学修目標と各授業科目の対応関係を示したものがカリキュラムマップです。本学では、ディプロマ・ポリシー(DP)の要素として、＜1. 幅広い知識と教養＞、＜2. 専門的学識＞、＜3. 問題発見力・解決力＞、＜4. 多様性の理解とコミュニケーション能力＞、＜5. 汎用的な能力＞、＜6. 地域連携・社会貢献＞を挙げています。このカリキュラムマップでは、左側に授業科目、右側に6つのDPが記載され、どの科目を履修すればどのような能力や資質が身につくのかを「◎」、「○」、「△」で示しています。

◎・・・当該DPの内容を最もよく身につけることができる(関連が特に強い科目)

○・・・当該DPの内容をよく身につけることができる(関連が強い科目)

△・・・当該DPに関連した内容を身につけることができる(関連性のある科目)

商学部の履修に際しては、一に「◎」を参考にして、その科目がどのような能力の育成を主眼に置いているのかを理解してください。＜1. 幅広い知識と教養＞は「人文・自然系列科目」に、＜2. 専門的学識＞は「商学系列科目」に、＜3. 問題発見力・解決力＞は演習科目等に、＜4. 多様性の理解とコミュニケーション能力＞は「外国語科目」等に、＜5. 汎用的な能力＞は商学系列の情報系科目等に、＜6. 地域連携・社会貢献＞は「キャリア・デザイン」等の科目に、「◎」がついています。

また、同じ系列に属する科目間の違いを知りたい場合は、「○」や「△」も参考にしてください。

ただし、このカリキュラムマップは、各科目がカリキュラム全体の中でどのように位置づけられるものであるかを簡易的に示すものに過ぎません。実際に一つ一つの科目の履修を決めるときは、必ず、当該科目のシラバスでより詳細な説明も読んでから判断するようにしましょう。

科目系列	授業科目	授業を行う 年次	単位	ディプロマ・ポリシー				地域連携・社会貢献	
				幅広い知識と教養	専門的学識	問題発見力・解決力			汎用的な能力
						DP1	DP2		
商学系列科目	初級簿記Ⅰ	1・2・3・4	2		◎	○		DP6	
商学系列科目	初級簿記Ⅱ	1・2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	中級簿記Ⅰ	2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	中級簿記Ⅱ	2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	上級簿記Ⅰ	2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	上級簿記Ⅱ	2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	会計学入門	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	会計制度論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	原価計算論Ⅰ	2・3・4	2		◎	○	△		
商学系列科目	原価計算論Ⅱ	2・3・4	2		◎	○	△		
商学系列科目	会計情報論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	会計情報システム論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	財務諸表論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	会計原則論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	監査制度論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	監査報告論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	財務諸表分析	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	企業評価論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	管理会計総論	4	2		◎	○	△		
商学系列科目	管理会計論	4	2		◎	○	△		
商学系列科目	所得税務会計	4	2		◎	○		△	
商学系列科目	法人税務会計	4	2		◎	○		△	
商学系列科目	演習Ⅰ	2	4	◎	◎	◎	○		
商学系列科目	ビジネス実践講座マネジメント・ゲームⅠ	2・3・4	2		◎	○			
商学系列科目	ビジネス実践講座マネジメント・ゲームⅡ	2・3・4	2		◎	◎	○		
商学系列科目	演習Ⅱ	3	4	◎	◎	◎	○		
商学系列科目	演習Ⅲ	4	4	◎	◎	◎	○		
商学系列科目	資格取得講座(日商簿記3級)	1・2・3・4	4	△	◎		○		
商学系列科目	資格取得講座(日商簿記2級)	1・2・3・4	4	△	◎	△	○		
商学系列科目	資格取得講座(ファイナンサー3級)	1・2・3・4	2	○	◎				
商学系列科目	資格取得講座(宅地建物取引士)	1・2・3・4	4	△	◎				
商学系列科目	資格取得講座(行政書士)	1・2・3・4	4	△	◎				
商学系列科目	資格取得講座(F P 3級)	1・2・3・4	4	△	◎				
商学系列科目	資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))	1・2・3・4	2		◎	○	△		
商学系列科目	資格取得講座(秘書技能検定2級)	1・2・3・4	2		◎				
商学系列科目	資格取得講座(MOS Word)	1・2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	資格取得講座(MOS Excel)	1・2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	資格取得講座Ⅰ	1・2・3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	資格取得講座Ⅱ	1・2・3・4	2	△	◎		○		
商学系列科目	経営学総論Ⅰ	2・3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	経営学総論Ⅱ	2・3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	産業心理学	2・3・4	2	○	◎		△		
商学系列科目	人事教育心理学	2・3・4	2	○	◎		△		

科目系列	授業科目	授業を行う 年次	単位	ディプロマ・ポリシー					
				幅広い知識と教養	専門的学識	問題発見力・解決力		汎用的な能力	地域連携・社会貢献
						DP1	DP2		
商学系列科目	経営管理基礎理論	3・4	2	△	◎	○			DP6
商学系列科目	経営管理応用理論	3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	経営組織論Ⅰ	3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	経営組織論Ⅱ	3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	労務管理	3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	人事管理	3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	企業の財務活動	4	2	△	◎	○			
商学系列科目	財務的意志決定	4	2	△	◎	○			
商学系列科目	日本古代・中世経済史	1・2・3・4	2		◎				
商学系列科目	日本近世・近・現代経済史	1・2・3・4	2		◎				
商学系列科目	近代商業史	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	現代商業史	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	ミクロ経済学Ⅰ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	ミクロ経済学Ⅱ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	マクロ経済学Ⅰ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	マクロ経済学Ⅱ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	経済史Ⅰ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	経済史Ⅱ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	社会政策Ⅰ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	社会政策Ⅱ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	地域経済学Ⅰ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	地域経済学Ⅱ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	消費経済学(家計と企業)	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	消費経済学(家計と政府)	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	マルクス経済学Ⅰ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	マルクス経済学Ⅱ	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	入門計量経済学	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	応用計量経済学	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	近代金融論	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	現代金融論	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	株式会社と証券市場	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	経済と株価	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	近代日本経済論	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	現代日本経済論	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	開港経済学	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	開業政策論	2・3・4	2		◎				
商学系列科目	環境経済学Ⅰ	3・4	2		◎				
商学系列科目	環境経済学Ⅱ	3・4	2		◎				
商学系列科目	公共経済学Ⅰ	3・4	2		◎				
商学系列科目	公共経済学Ⅱ	3・4	2		◎				
商学系列科目	国際経済学Ⅰ	3・4	2		◎				
商学系列科目	国際経済学Ⅱ	3・4	2		◎				
商学系列科目	国際通貨	3・4	2		◎				

科目系列	授業科目	授業を行う 年次	単位	ディプロマ・ポリシー						
				幅広い知識と教養 DP1	専門的学識 DP2	問題発見力・解決力 DP3	多様な理解とコミュニケーション能力 DP4	汎用的な能力 DP5	地域連携・社会貢献 DP6	
商学系列科目	外国為替	3・4	2		◎					
商学系列科目	近代中小企業論	3・4	2		◎					
商学系列科目	現代中小企業論	3・4	2		◎					
商学系列科目	労働経済学Ⅰ	3・4	2		◎					
商学系列科目	労働経済学Ⅱ	3・4	2		◎					
商学系列科目	経済政策Ⅰ	4	2		◎					
商学系列科目	経済政策Ⅱ	4	2		◎					
商学系列科目	外国書講読1	3・4	2		◎	○	△			
商学系列科目	外国書講読2	3・4	2		◎	○	△			
商学系列科目	外国書講読3	4	2		◎	○	△			
商学系列科目	外国書講読4	4	2		◎	○	△			
商学系列科目	国際貿易理論	2・3・4	2		△	○				
商学系列科目	国際貿易政策	2・3・4	2		△	○				
商学系列科目	国際ビジネス論	2・3・4	2		△	○				
商学系列科目	多国籍企業論	2・3・4	2		△	○				
商学系列科目	国際ビジネス環境論	2・3・4	2		◎	○			△	
商学系列科目	国際ビジネス戦略論(理論編)	3・4	2		◎	○			△	
商学系列科目	国際ビジネス戦略論(実践編)	3・4	2		◎	○			△	
商学系列科目	国際マーケティングの基礎理論	3・4	2		◎	○			△	
商学系列科目	国際マーケティング業務	3・4	2		◎	○			△	
商学系列科目	ビジネスコミュニケーション論	4	2		◎	○			△	
商学系列科目	異文化間コミュニケーション論	4	2		◎	○			△	
商学系列科目	国際ビジネス実務	4	2		◎	○			△	
商学系列科目	国際ビジネス実践	4	2		◎	○			△	
商学系列科目	商学総論	1・2・3・4	2		◎				○	
商学系列科目	流通システム論	1・2・3・4	2		◎				○	
商学系列科目	マーケティング論	2・3・4	2		○		△			
商学系列科目	マーケティング戦略論	2・3・4	2		○		△			
商学系列科目	商業政策総論	2・3・4	2		◎				○	△
商学系列科目	流通政策論	2・3・4	2		◎				○	△
商学系列科目	国際流通論	2・3・4	2		○		△			
商学系列科目	国際流通システム論	2・3・4	2		○		△			
商学系列科目	広告論	2・3・4	2		◎				○	
商学系列科目	広告政策論	2・3・4	2		◎				○	
商学系列科目	市場論	2・3・4	2		◎				○	△
商学系列科目	市場戦略論	2・3・4	2		◎				○	△
商学系列科目	流通戦略論Ⅰ	4	2		◎	△			○	
商学系列科目	流通戦略論Ⅱ	4	2		◎	△			○	
商学系列科目	情報リテラシー	1	2		△		○		◎	△
商学系列科目	情報処理論	1	2		△		○		◎	△
商学系列科目	情報数学	1・2・3・4	2		◎				△	
商学系列科目	経営数学	1・2・3・4	2		◎				△	
商学系列科目	情報社会と倫理	1・2・3・4	2		◎				△	

科目系列	授業科目	授業を行う 年次	単位	ディプロマ・ポリシー				地域連携・社会貢献	
				幅広い知識と教養	専門的学識	問題発見力・解決力			汎用的な能力
						DP1	DP2		
商学系列科目	情報科学概論	1・2・3・4	2		◎	○		DP6	
商学系列科目	マルチメディア論	1・2・3・4	2		◎	○	△		
商学系列科目	コンピュータコミュニケーション	2・3・4	2	△	◎	○			
商学系列科目	プログラミングI (ビジネス処理系言語)	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	プログラミングI (システム開発系言語)	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	プログラミングI (ソフトウェア開発系言語)	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	アプリケーション論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	プログラミングII (データ処理系言語)	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	プログラミングII (応用システム開発系言語)	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	プログラミングII (応用ソフトウェア開発系言語)	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	マーケティングシステム論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	マーケティング情報論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	統計学	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	数理統計学	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	ソフトウェア論	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	コンピュータの構成	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	データベース	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	情報環境論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	システム設計論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	Webデータベース	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	ネットワーク論	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	メディアデザイン	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	e-コマース	4	2	△	◎	○		△	
商学系列科目	シミュレーション	4	2	△	◎	○		△	
商学系列科目	コンテンツ開発	4	2	△	◎	○		△	
商学系列科目	経営科学	4	2	△	◎	○		△	
商学系列科目	スポーツビジネス論I	4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツビジネス論II	4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ指導論I	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ指導論II	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ組織論I	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ組織論II	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツキャリア実践講座I	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツキャリア実践講座II	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	フィットネス概論I	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	フィットネス概論II	2・3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツキャリア実践講座III	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツキャリア実践講座IV	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ経営論I	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ経営論II	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ心理学I	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ心理学II	3・4	2		◎	○		△	
商学系列科目	スポーツ広報論I	4	2		◎	○		△	

科目系列	授業科目	授業を行う 年次	単位	ディプロマ・ポリシー				地域連携・社会貢献	
				幅広い知識と教養	専門的学識	問題発見力・解決力			汎用的な能力
						DP1	DP2		
商学系列科目	スポーツ広報論Ⅱ	4	2		◎	○		DP6	
商学系列科目	商学部卒業講座Ⅰ	4	1	○				△	
商学系列科目	商学部卒業講座Ⅱ	4	1	○				△	
商学系列科目	商学部入門講座	1	1	○					
商学系列科目	民法総則	1・2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	物権法	1・2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	税法Ⅰ	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	税法Ⅱ	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	商法総則・会社法総論	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	会社法各論	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	手形・小切手法	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	金融商品取引法	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	債権法総論	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	債権法各論	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	労働法の基礎	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	労働法の応用	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	経済法Ⅰ	2・3・4	2	○		△			
商学系列科目	経済法Ⅱ	2・3・4	2	○		△			
人文・自然系列科目	日本語表現Ⅰ	1	2	◎			○		
人文・自然系列科目	日本語表現Ⅱ	1	2	◎			○		
人文・自然系列科目	プロゼミナール	1	2	△		◎			
人文・自然系列科目	日本語読解Ⅰ	1	1	◎			○		
人文・自然系列科目	日本語読解Ⅱ	1	1	◎			○		
人文・自然系列科目	日本語作文Ⅰ	1	1	◎			○		
人文・自然系列科目	日本語作文Ⅱ	1	1	◎			○		
人文・自然系列科目	哲学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎		○			
人文・自然系列科目	哲学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎		○			
人文・自然系列科目	倫理学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎			○	△	
人文・自然系列科目	倫理学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎			○	△	
人文・自然系列科目	心理学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎			◎		
人文・自然系列科目	心理学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎			◎		
人文・自然系列科目	歴史学(日本史)Ⅰ	1・2・3・4	2	◎					
人文・自然系列科目	歴史学(日本史)Ⅱ	1・2・3・4	2	◎					
人文・自然系列科目	歴史学(世界史)Ⅰ	1・2・3・4	2	◎					
人文・自然系列科目	歴史学(世界史)Ⅱ	1・2・3・4	2	◎					
人文・自然系列科目	論理学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎					
人文・自然系列科目	論理学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎					
人文・自然系列科目	言語学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎	△		○		
人文・自然系列科目	言語学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎	△		○		
人文・自然系列科目	経済学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎	○				
人文・自然系列科目	経済学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎	○				
人文・自然系列科目	政治学Ⅰ	1・2・3・4	2	◎			○		
人文・自然系列科目	政治学Ⅱ	1・2・3・4	2	◎			○		

科目系列	授業科目	授業を行う 年次	単位	ディプロマ・ポリシー					地域連携・社会貢献			
				幅広い知識と教養	専門的学識	問題発見力・解決力		DP4 <small>多様な国際コミュニケーション能力</small>		汎用的な能力		
						DP1	DP2				DP3	DP5
人文・自然系科目	キャリアデザインⅢ	3	2				○	△				DP6
人文・自然系科目	キャリアデザインⅣ	3	2				○	△				◎
外国語系科目	英会話	1	1				○	◎				
外国語系科目	英語リスニング・スピーキング (LL)	1	1				○	◎				
外国語系科目	英語リーディング・ライティングⅠ	1	1				○	◎				
外国語系科目	英語リーディング・ライティングⅡ	1	1				○	◎				
外国語系科目	中国語Ⅰ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	中国語Ⅱ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	フランス語Ⅰ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	フランス語Ⅱ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	ドイツ語Ⅰ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	ドイツ語Ⅱ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	ロシア語Ⅰ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	ロシア語Ⅱ	1・2・3	1				○	◎				
外国語系科目	日本語特講Ⅰ	1・2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	日本語特講Ⅱ	1・2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	日本語理解Ⅰ	1・2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	日本語理解Ⅱ	1・2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	総合英語Ⅰ	2	1				○	◎				
外国語系科目	総合英語Ⅱ	2	1				○	◎				
外国語系科目	英語特別講座Ⅰ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語特別講座Ⅱ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語上級講座Ⅰ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語上級講座Ⅱ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	中国語Ⅲ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	中国語Ⅳ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	フランス語Ⅲ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	フランス語Ⅳ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	ドイツ語Ⅲ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	ドイツ語Ⅳ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	ロシア語Ⅲ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	ロシア語Ⅳ	2・3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語特別講座Ⅲ	3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語特別講座Ⅳ	3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語上級講座Ⅲ	3・4	1				○	◎				
外国語系科目	英語上級講座Ⅳ	3・4	1				○	◎				
体育科目	健康スポーツ実技Ⅰ	1	1					△				○
体育科目	健康スポーツ実技Ⅱ	1	1					△				○
体育科目	スポーツ文化実技Ⅰ	2・3・4	1					△				○
体育科目	スポーツ文化実技Ⅱ	2・3・4	1					△				○
体育科目	生涯スポーツ実技Ⅰ	2・3・4	1					△				○
体育科目	生涯スポーツ実技Ⅱ	2・3・4	1					△				○

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目			*商学総論(2) *初級簿記Ⅰ(2)	*流通システム論(2) *初級簿記Ⅱ(2)	*経営学総論Ⅰ(2)	*経営学総論Ⅱ(2)	流通戦略論Ⅰ(2) 流通戦略論Ⅱ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択	
		商学部入門講座(1)<通年>		*マーケティング論(2)	*マーケティング戦略論(2)			商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>		
	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 流通システム論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)		民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) マルチメディア論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)		
	2年次～	(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 流通政策論(2) 市場論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 地域経済学Ⅱ(2) 入門計量経済学(2) 応用計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 会社法各論(2) 労働法の基礎(2) 労働法の応用(2) 開発経済学(2) 開発政策論(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)		産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) 経済法Ⅰ(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) 経済法Ⅱ(2)	社会政策Ⅰ(2) 社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅰ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報論(2) 会計情報システム論(2) マクロ経済学Ⅰ(2) マクロ経済学Ⅱ(2) 株式会社と証券市場(2) 経済と株値(2) 統計学(2) 数理統計学(2) 債権法総論(2) 債権法各論(2) 近代日本経済論(2) 現代日本経済論(2) 国際流通論(2) 国際流通システム論(2)				
3年次～					(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 人事管理(2) 監査制度論(2) 監査報告論(2) 近代中小企業論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 現代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際貿易政策(2) 国際ビジネス論(2) 多国籍企業論(2) 国際通関(2) 外国為替(2) コンピュータコミュニケーション(2) アプリケーション論(2) 財務諸表分析(2) 企業評価論(2) 労働経済学Ⅰ(2) 労働経済学Ⅱ(2) 環境経済学Ⅰ(2) 環境経済学Ⅱ(2) 経済史Ⅰ(2) 経済史Ⅱ(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計学入門(2) 会計制度論(2) ミクロ経済学Ⅰ(2) ミクロ経済学Ⅱ(2) マルクス経済学Ⅰ(2) マルクス経済学Ⅱ(2) プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2) プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2) プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)(2) プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)		72		
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営管理基礎理論(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 国際マーケティング業務(2) 財務諸表論(2) 会計原則論(2) 公共経済学Ⅰ(2) 公共経済学Ⅱ(2) コンピュータの構成(2) システム設計論(2) シミュレーション(2) 経営科学(2) 企業の財務活動(2) 財務的意思決定(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計総論(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 所得税務会計(2) 経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2) 国際経済学Ⅰ(2) 国際経済学Ⅱ(2) 情報環境論(2) ネットワーク論(2) データベース(2) Webデータベース(2) e-コマース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅰ(2) 経営組織論Ⅱ(2)			
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年>	外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	演習Ⅲ(4)<通年> 外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2)<通年>				外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	
	留學生必修科目※1	日本語表現Ⅰ(2) 日本語作文1(1)	日本語表現Ⅱ(2) 日本語作文2(1)	日本事情Ⅰ(2)	日本事情Ⅱ(2)					
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 経済学Ⅰ(2) 法学(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) データサイエンス(2)	哲学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2) 経済学Ⅱ(2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 地学Ⅰ(2) 地球環境論(2)	倫理学Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 応用法学(2) 地学Ⅱ(2) 自然環境論(2)	言語学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 政治学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 政治学Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2)	日本語操作Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2)	日本語操作Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 平和学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2)	6
			※2 表下参照 ※3 表下参照	ボランティア学(2) 地域ボランティア実践(2)	キャリアデザインⅠ(2) キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)	キャリアデザインⅣ(2)			
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語Ⅰ(1)	総合英語Ⅱ(1)				6	
	選択科目			英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
		中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)				(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
	留學生選択科目※4	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語特講1(1)	日本語特講2(1)				(4)(商学系列振替可) (商学系列振替可)	
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)						2	
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)	

※1 留學生は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本事情Ⅰ・Ⅱ」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。
 ※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。
 ※3 「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。
 ※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留學生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目			経営学総論Ⅰ(2) 商学総論(2) 近代商業史(2)	経営学総論Ⅱ(2) 流通システム論(2) 現代商業史(2)	経営管理基礎理論(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営管理応用理論(2) 経営組織論Ⅱ(2)	企業の財務活動(2) 財務的意思決定(2)	16 第3・4セメから各4単位選択 第5～8セメから各2単位選択	
		商学部入門講座(1)<通年>		初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)			商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>		
	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	マルチメディア論(2)	
	2年次～		(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅱ(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) マクロ経済学Ⅰ(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) マクロ経済学Ⅱ(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)		
3年次～				(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査報告論(2) 近代中小企業論(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション(2) 財務諸表分析(2) 労働経済学Ⅰ(2) 環境経済学Ⅰ(2) 経済史Ⅰ(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) 労働経済学Ⅱ(2) 環境経済学Ⅱ(2) 経済史Ⅱ(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 会計学入門(2) ミクロ経済学Ⅰ(2) マルクス経済学Ⅰ(2) プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2) プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2) プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計制度論(2) ミクロ経済学Ⅱ(2) マルクス経済学Ⅱ(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2) プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)		72	
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) 公共経済学Ⅰ(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 法人税務会計(2) 経済政策Ⅰ(2) 国際経済学Ⅰ(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2)	国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) 公共経済学Ⅱ(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 所得税務会計(2) 経済政策Ⅱ(2) 国際経済学Ⅱ(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2)		
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	演習Ⅲ(4)<通年> 外国書講読3(2)	外国書講読4(2)		
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2)<通年>							6	
	留学生必修科目※1	日本語表現Ⅰ(2) 日本語読解1(1) 日本語作文1(1)	日本語表現Ⅱ(2) 日本語読解2(1) 日本語作文2(1)	日本事情Ⅰ(2)	日本事情Ⅱ(2)					
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 経済学Ⅰ(2) 法学(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) データサイエンス(2)	哲学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2) 経済学Ⅱ(2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 地学Ⅰ(2) 地球環境論(2)	倫理学Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 応用法学(2) 地学Ⅱ(2) 自然環境論(2)	言語学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 政治学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 政治学Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2)	日本語操作Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2)	日本語操作Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 平和学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2)	20
		※2 表下参照 ※3 表下参照	ボランティア学(2) キャリアデザインⅠ(2)	地域ボランティア実践(2) キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)	キャリアデザインⅣ(2)				
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語Ⅰ(1)	総合英語Ⅱ(1)				6	
	選択科目			英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
		中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)					
	留学生選択科目※4	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語特講1(1)	日本語特講2(1)				(商学系列振替可)	
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)							2	
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)	

※1 留学生は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本事情Ⅰ・Ⅱ」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。
 ※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。
 ※3 「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。
 ※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留学生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4		
	選択必修科目			国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2)	国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2)	国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2)	国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2)	ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2)	異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2)	16 第3～8セメから各2単位選択	
		商学部入門講座(1)<通年>						商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>			
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	マルチメディア論(2)	72
		2年次～		(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅱ(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2)	人事教育心理学(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) マクロ経済学Ⅰ(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) マクロ経済学Ⅱ(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)		
3年次～					(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査報告論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) ミクロ経済学Ⅰ(2) マルクス経済学Ⅰ(2) 経済史Ⅰ(2) 環境経済学Ⅰ(2) プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2) プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) ミクロ経済学Ⅱ(2) マルクス経済学Ⅱ(2) 経済史Ⅱ(2) 環境経済学Ⅱ(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 会計学入門(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2) 財務諸表分析(2) 労働経済学Ⅰ(2) プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計制度論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) 労働経済学Ⅱ(2) プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)			
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 財務諸表論(2) 公共経済学Ⅰ(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) 管理会計総論(2) 法人税務会計(2) 経済政策Ⅰ(2) 国際経済学Ⅰ(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 会計原則論(2) 公共経済学Ⅱ(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 管理会計論(2) 所得税務会計(2) 経済政策Ⅱ(2) 国際経済学Ⅱ(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)			
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)			
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2)<通年>							6		
	留学生必修科目※1	日本語表現Ⅰ(2)	日本語表現Ⅱ(2)								
		日本語読解1(1) 日本語作文1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1)	日本事情Ⅰ(2)	日本事情Ⅱ(2)						
選択科目	哲学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 経済学Ⅰ(2) 法学(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) データサイエンス(2)	哲学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2) 経済学Ⅱ(2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 地学Ⅰ(2) 地球環境論(2)	倫理学Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 応用法学(2) 地学Ⅱ(2) 自然環境論(2)	言語学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 政治学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 政治学Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2)	日本語操作Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2)	日本語操作Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 平和学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2)	20		
			※2 表下参照 ※3 表下参照 ボランティア学(2) キャリアデザインⅠ(2)	地域ボランティア実践(2) キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)	キャリアデザインⅣ(2)					
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)				6		
	選択科目			英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)		
			中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)			(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)		
		留学生選択科目※4	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語特講1(1)	日本語特講2(1)			(商学系列振替可)		
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)					2			
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)			(4)(商学系列振替可)			

※1 留学生は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本事情Ⅰ・Ⅱ」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。
 ※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。
 ※3 「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。
 ※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留学生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目	商学部入門講座(1)<通年>		*中級簿記Ⅰ(2) *上級簿記Ⅰ(2) #会計学入門(2)	*中級簿記Ⅱ(2) *上級簿記Ⅱ(2) #会計制度論(2)	#財務諸表論(2)	#会計原則論(2)	*管理会計総論(2) *法人税務会計(2) 商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	16 第3・4セメの*から各2単位選択 第7・8セメから各2単位選択 #印の科目は必須	
	共通選択科目	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(資格取得講座(簿記技能検定2級)(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	72
		2年次～		(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅱ(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2)	人事教育心理学(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) マクロ経済学Ⅰ(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) マクロ経済学Ⅱ(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	
		3年次～			(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査報告論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) コンピュータコミュニケーション(2) 経済史Ⅰ(2) 環境経済学Ⅰ(2)	労働経済学Ⅰ(2) メディアデザイン(2) ミクロ経済学Ⅰ(2) マルクス経済学Ⅰ(2) プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2) プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2) プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 経済史Ⅱ(2) 環境経済学Ⅱ(2)	財務諸表分析(2) 労働経済学Ⅱ(2) メディアデザイン(2) ミクロ経済学Ⅱ(2) マルクス経済学Ⅱ(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2) プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)	企業評価論(2) 労働経済学Ⅱ(2) 企業評価論(2) マルクス経済学Ⅱ(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2) プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)	
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 公共経済学Ⅰ(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 経済政策Ⅰ(2) 国際経済学Ⅰ(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 公共経済学Ⅱ(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 経済政策Ⅱ(2) 国際経済学Ⅱ(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)		
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)		
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2)<通年>							6	
	留学生必修科目※1	日本語表現Ⅰ(2) 日本語読解1(1) 日本語作文1(1)	日本語表現Ⅱ(2) 日本語読解2(1) 日本語作文2(1)	日本事情Ⅰ(2)	日本事情Ⅱ(2)					
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 経済学Ⅰ(2) 法学(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) データサイエンス(2)	哲学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2) 経済学Ⅱ(2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 地学Ⅰ(2) 地球環境論(2)	倫理学Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 応用法学(2) 地学Ⅱ(2) 自然環境論(2)	言語学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 政治学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 政治学Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2)	日本語操作Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2)		日本語操作Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 平和学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2)
			※2 表下参照 ※3 表下参照 ボランティア学(2) キャリアデザインⅠ(2)	地域ボランティア実践(2) キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)	キャリアデザインⅣ(2)				
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語Ⅰ(1)	総合英語Ⅱ(1)				6	
	選択科目	中国語Ⅰ(1) フランス語Ⅰ(1) ドイツ語Ⅰ(1) ロシア語Ⅰ(1)	中国語Ⅱ(1) フランス語Ⅱ(1) ドイツ語Ⅱ(1) ロシア語Ⅱ(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
	留学生選択科目※4	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語特講1(1)	日本語特講2(1)				(商学系列振替可)	
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)							2	
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)	

※1 留学生は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本事情Ⅰ・Ⅱ」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。
 ※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。
 ※3 「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。
 ※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留学生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4	
	選択必修科目			#ミクロ経済学Ⅰ(2) #マクロ経済学Ⅰ(2) 経済史Ⅰ(2)	#ミクロ経済学Ⅱ(2) #マクロ経済学Ⅱ(2) 経済史Ⅱ(2)	公共経済学Ⅰ(2) 国際経済学Ⅰ(2)	公共経済学Ⅱ(2) 国際経済学Ⅱ(2)	経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2)	16 5～8セメスターから各2単位選択 #印の科目は必須	
		商学部入門講座(1)<通年>						商学部卒業講座Ⅰ(学生会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学生会講座)(1)<通年>		
	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定Ⅲ級)(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定Ⅲ級)(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) マルメディア論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)		
	2年次～			(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅱ(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2) マネジメント・ゲームⅠ(2) マネジメント・ゲームⅡ(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング戦略論(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) マルクス経済学Ⅰ(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) マルクス経済学Ⅱ(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	
共通選択科目					(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通貨(2) メディアデザイン(2) コンピュータコミュニケーション(2) 環境経済学Ⅰ(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 環境経済学Ⅱ(2)	財務諸表分析(2) 労働経済学Ⅰ(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 会計学入門(2) プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2) プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2) プログラミングⅠ(ソフトウェア開発系言語)(2)	企業評価論(2) 労働経済学Ⅱ(2) 中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 会計制度論(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2) プログラミングⅡ(応用ソフトウェア開発系言語)(2)	72	
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) コンピュータの構成(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 法人税務会計(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 所得税務会計(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)		
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	演習Ⅲ(4)<通年> 外国書講読3(2)	外国書講読4(2)		
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2)<通年>							6	
	留学生必修科目※1	日本語表現Ⅰ(2) 日本語読解1(1) 日本語作文1(1)	日本語表現Ⅱ(2) 日本語読解2(1) 日本語作文2(1)	日本事情Ⅰ(2)	日本事情Ⅱ(2)					
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 経済学Ⅰ(2) 法学(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) データサイエンス(2)	哲学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2) 経済学Ⅱ(2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 地学Ⅰ(2) 地球環境論(2)	倫理学Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 応用法学(2) 地学Ⅱ(2) 自然環境論(2)	言語学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 政治学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 政治学Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2)	日本語操作Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2)	日本語操作Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 平和学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2)	20
			※2 表下参照 ※3 表下参照	ボランティア学(2) キャリアデザインⅠ(2)	地域ボランティア実践(2) キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)	キャリアデザインⅣ(2)			
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティングⅠ(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティングⅡ(1)	総合英語Ⅰ(1)	総合英語Ⅱ(1)				6	
	選択科目			英語特別講座Ⅰ(1) 英語上級講座Ⅰ(1)	英語特別講座Ⅱ(1) 英語上級講座Ⅱ(1)	英語特別講座Ⅲ(1) 英語上級講座Ⅲ(1)	英語特別講座Ⅳ(1) 英語上級講座Ⅳ(1)		(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
	留学生選択科目※4	日本語理解Ⅰ(1)	日本語理解Ⅱ(1)	日本語特講Ⅰ(1)	日本語特講Ⅱ(1)				(商学系列振替可)	
	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)						2	
選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)				(4)(商学系列振替可)		

※1 留学生は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本事情Ⅰ・Ⅱ」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。

※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。

※3 「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。

※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留学生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数			
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4			
	選択必修科目			コンピュータコミュニケーション(2) プログラミング I (ビジネス処理系言語)(2) プログラミング I (システム開発系言語)(2) プログラミング I (ソフトウェア開発系言語)(2)	アプリケーション論(2) プログラミング II (データ処理系言語)(2) プログラミング II (応用システム開発系言語)(2) プログラミング II (応用ソフトウェア開発系言語)(2)	コンピュータの構成(2) 情報環境論(2) データベース(2)	システム設計論(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2)	シミュレーション(2) e-コマース(2)	経営科学(2) コンテンツ開発(2)	16 第3・4セメから各4単位選択 第5～8セメから各2単位選択		
	1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 流通システム論(2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)		民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(資格取得講座(MOS Word)(2))	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座 I (2)	情報科学概論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座 II (2)	マルチメディア論(2)			
	2年次～	(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 流通政策論(2) 市場論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学 I (2) 地域経済学 II (2) 入門計量経済学(2) 応用計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 会社法各論(2) 労働法の基礎(2) 労働法の応用(2) 開発経済学(2) 開発政策論(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲーム I」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲーム II」(2)		産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論 I (2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論 II (2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策 I (2) 税法 I (2) 会計情報論(2) マクロ経済学 I (2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法 I (2) 国際流通論(2)	社会政策 II (2) 税法 II (2) 会計情報システム論(2) マクロ経済学 II (2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法 II (2) 国際流通システム論(2)					
	3年次～			(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 会計学入門(2) ミクロ経済学 I (2) マルクス経済学 I (2) 経済学 I (2) メディアデザイン(2) 環境経済学 I (2)		人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 会計制度論(2) ミクロ経済学 II (2) マルクス経済学 II (2) 経済学 II (2) 環境経済学 II (2)	財務諸表分析(2) 労働経済学 I (2) 近代商業史(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) 中級簿記 I (2) 上級簿記 I (2)	企業評価論(2) 労働経済学 II (2) 現代商業史(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) 中級簿記 II (2) 上級簿記 II (2)		72		
4年次～							(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論 I (2) 経営学総論 II (2) 経営管理基礎理論(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 国際マーケティング業務(2) 財務諸表論(2) 会計原則論(2) 公共経済学 I (2) 公共経済学 II (2) 流通戦略論 I (2) 流通戦略論 II (2) 企業の財務活動(2) 財務的意思決定(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計総論(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 所得税務会計(2) 経済政策 I (2) 経済政策 II (2) 国際経済学 I (2) 国際経済学 II (2) 経営組織論 I (2) 経営組織論 II (2)		演習 I (4) <通年>	演習 II (4) <通年> 外国書講読1(2) 外国書講読2(2)	演習 III (4) <通年> 外国書講読3(2) 外国書講読4(2)	
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2) <通年>										
	留学生必修科目※1	日本語表現 I (2)	日本語表現 II (2)	日本語読解1(1)	日本語読解2(1)	日本語作文1(1)	日本語作文2(1)	日本語事情 I (2)	日本語事情 II (2)	6		
	選択科目	哲学 I (2) 歴史学(世界史) I (2) 心理学 I (2) 経済学 I (2) 法学(2) スポーツ健康科学概論 I (2) 数学 I (2) データサイエンス(2)	哲学 II (2) 歴史学(世界史) II (2) 経済学 II (2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論 II (2) 数学 II (2)	倫理学 I (2) 歴史学(日本史) I (2) 文化人類学 I (2) 社会学 I (2) 基礎法学(2) 地学 I (2) 地球環境論(2)	倫理学 II (2) 歴史学(日本史) II (2) 文化人類学 II (2) 社会学 II (2) 応用法学(2) 地学 II (2) 自然環境論(2)	言語学 I (2) 論理学 I (2) 外国文化研究 I (2) 現代社会論 I (2) 政治学 I (2) 生物学 I (2) 自然科学概論 I (2)	言語学 II (2) 論理学 II (2) 外国文化研究 II (2) 現代社会論 II (2) 政治学 II (2) 生物学 II (2) 自然科学概論 II (2)	日本語操作法 I (2) 文学演習 I (2) 人文地理学 I (2) 平和学 I (2) 自然地理学 I (2) 物理学 I (2)	日本語操作法 II (2) 文学演習 II (2) 人文地理学 II (2) 平和学 II (2) 自然地理学 II (2) 物理学 II (2)		20	
		※2 表下参照 ※3 表下参照		ボランティア学(2)	地域ボランティア実践(2)	キャリアデザイン I (2)	キャリアデザイン II (2)	キャリアデザイン III (2)	キャリアデザイン IV (2)			
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)					6		
	選択科目	中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	(4) (商学系列振替可) (4) (商学系列振替可) (4) (商学系列振替可) (4) (商学系列振替可) (4) (商学系列振替可)		
	留学生選択科目※4	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語特講1(1)	日本語特講2(1)					(商学系列振替可)		
	必修科目	健康スポーツ実技 I (1)	健康スポーツ実技 II (1)							2		
選択科目			スポーツ文化実技 I (1) 生涯スポーツ実技 I (1)	スポーツ文化実技 II (1) 生涯スポーツ実技 II (1)					(4) (商学系列振替可)			

※1 留学生は「日本語表現 I・II」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本語事情 I・II」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。
 ※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。
 ※3 「キャリアデザイン I～IV」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。
 ※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留学生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
商学系列科目	共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)						4
	選択必修科目			*スポーツキャリア実践講座Ⅰ(2) *フィットネス概論Ⅰ(2) *スポーツ指導論Ⅰ(2) *スポーツ組織論Ⅰ(2)	*スポーツキャリア実践講座Ⅱ(2) *フィットネス概論Ⅱ(2) *スポーツ指導論Ⅱ(2) *スポーツ組織論Ⅱ(2)	*スポーツキャリア実践講座Ⅲ(2) *スポーツ心理学Ⅰ(2) *スポーツ経営論Ⅰ(2)	*スポーツキャリア実践講座Ⅳ(2) *スポーツ心理学Ⅱ(2) *スポーツ経営論Ⅱ(2)	スポーツ広報論Ⅰ(2) スポーツビジネス論Ⅰ(2) 商学部卒業講座Ⅰ(学友会講座)(1)<通年> 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
		1年次～	(第1～第8セメスター履修可能科目) 商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(マネジメント検定(Ⅲ級))(2)	民法総則(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(カラーコーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2)	物権法(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 資格取得講座(MOS Word)(2)	情報数学(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 資格取得講座(宅地建物取引士)(4) 資格取得講座Ⅰ(2)	情報科学概論(2) 資格取得講座(FP3級)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)
	2年次～	(第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 地域経済学Ⅰ(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅱ(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2)	産業心理学(2) 広告論(2) 原価計算論Ⅰ(2) 消費経済学(家計と企業)(2) 近代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法(2) 国際ビジネス環境論(2) マーケティング論(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 地域経済学Ⅱ(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2)	人事教育心理学(2) 広告政策論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 金融商品取引法(2) マーケティング戦略論(2)	社会政策Ⅰ(2) 税法Ⅰ(2) 会計情報論(2) マクロ経済学Ⅰ(2) 株式会社と証券市場(2) 統計学(2) 債権法総論(2) 近代日本経済論(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	社会政策Ⅱ(2) 税法Ⅱ(2) 会計情報システム論(2) マクロ経済学Ⅱ(2) 経済と株価(2) 数理統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	
	3年次～	(第5～第8セメスター履修可能科目) 労務管理(2) 監査制度論(2) 近代中小企業論(2) 近代商業史(2) 会計学入門(2) ミクロ経済学Ⅰ(2) マルクス経済学Ⅰ(2) 経済史Ⅰ(2) 環境経済学Ⅰ(2) 労働経済学Ⅰ(2) プログラミングⅠ(システム開発系言語)(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 現代商業史(2) 会計制度論(2) ミクロ経済学Ⅱ(2) マルクス経済学Ⅱ(2) 経済史Ⅱ(2) 環境経済学Ⅱ(2) 労働経済学Ⅱ(2) プログラミングⅡ(応用システム開発系言語)(2)	メディアデザイン(2) 中級簿記Ⅰ(2) 上級簿記Ⅰ(2) 国際貿易理論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション(2) 財務諸表分析(2) プログラミングⅠ(ビジネス処理系言語)(2)	中級簿記Ⅱ(2) 上級簿記Ⅱ(2) 国際貿易政策(2) 多国籍企業論(2) 外国為替(2) アプリケーション論(2) 企業評価論(2) プログラミングⅡ(データ処理系言語)(2)				
4年次～	(第7～第8セメスター履修可能科目) 経営学総論Ⅰ(2) 経営管理基礎理論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎理論(2) 財務諸表論(2) 公共経済学Ⅰ(2) コンピュータの構成(2) 企業の財務活動(2) シミュレーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 管理会計総論(2) 法人税務会計(2) 経済政策Ⅰ(2) 国際経済学Ⅰ(2) 情報環境論(2) データベース(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用理論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) 公共経済学Ⅱ(2) システム設計論(2) 財務的意思決定(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 国際ビジネス実践(2) 管理会計論(2) 所得税務会計(2) 経済政策Ⅱ(2) 国際経済学Ⅱ(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2) コンテンツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)							
			演習Ⅰ(4)<通年>		演習Ⅱ(4)<通年> 外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	演習Ⅲ(4)<通年> 外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	72
人文・自然系列科目	必修科目	プロゼミナール(2)<通年>							6
	留學生必修科目※1	日本語表現Ⅰ(2) 日本語読解1(1) 日本語作文1(1)	日本語表現Ⅱ(2) 日本語読解2(1) 日本語作文2(1)	日本事情Ⅰ(2)	日本事情Ⅱ(2)				
	選択科目	哲学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 経済学Ⅰ(2) 法学(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) データサイエンス(2)	哲学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2) 経済学Ⅱ(2) 憲法(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 基礎法学(2) 地学Ⅰ(2) 地球環境論(2)	倫理学Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 応用法学(2) 地学Ⅱ(2) 自然環境論(2)	言語学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 政治学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2)	言語学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 政治学Ⅱ(2) 生物学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2)	日本語操作Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2)	
			※2 表下参照 ※3 表下参照 ボランティア学(2) キャリアデザインⅠ(2)	地域ボランティア実践(2) キャリアデザインⅡ(2)	キャリアデザインⅢ(2)	キャリアデザインⅣ(2)			
外国語系列科目	必修科目	英会話(1) 英語リーディング・ライティング1(1)	英語リスニング・スピーキング(LL)(1) 英語リーディング・ライティング2(1)	総合英語1(1)	総合英語2(1)				6
	選択科目			英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)	
			中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) コリア語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) コリア語2(1)	中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) コリア語3(1)	中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) コリア語4(1)			(4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可) (4)(商学系列振替可)
		留學生選択科目※4	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語特講1(1)	日本語特講2(1)			(4)(商学系列振替可) (商学系列振替可)
体育科目	必修科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)					2	
	選択科目			スポーツ文化実技Ⅰ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1)	スポーツ文化実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1)			(4)(商学系列振替可)	

※1 留學生は「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」の代わりに「日本語読解1・2」と「日本語作文1・2」を履修します。2年次の「日本事情Ⅰ・Ⅱ」の単位は、人文・自然系列科目の選択科目に入ります。
 ※2 「ボランティア学」と「地域ボランティア実践」はセットで履修する科目です。詳細は、P7「②選択科目」を参照してください。
 ※3 「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」はBJP(ベスト・ジョブ・プログラム)科目です。
 ※4 「日本語理解1・2」と「日本語特講1・2」は日本人学生は履修できません。留學生は日本語以外の選択科目を履修することができますが、母国語は履修することができません。

2024

学籍番号：

名 前：

※入学時に配布し、卒業まで使用します。